

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-1	御用日記 天明8～寛政8	御立山奉行の日記	天明8～寛政8		天明8～寛政3途中まで武藤、寛政3途中から高橋	綴り・1	
1	1-2	駅々御本陣御間取絵図					縦帳・1	
1	1-3	松平家系	家康～直應様(明治30年)				縦帳・1	
1	1-4	(歳暮礼状)	肴一種			斉恒→米村伴兵衛	状・1	(内包紙)「米村伴兵衛殿 斎恒」 (外包紙)「御奉書」
1	1-5-1	(書状控力)	上使水野和泉守により殿様御暇被仰出状況報告	正月9日	—	米村伴兵衛→大塚久太夫・澤源右衛門・小川大之進	状・1	
1	1-5-2	(書状控力)	年頭御祝、江戸の殿様他の状況報告	正月13日	—	米村伴兵衛→大塚久太夫・澤源右衛門・小川大之進	状・1	
1	1-5-3	(書状控力)	ヒロ姫様御結納祝	正月18日		米村伴兵衛→大塚久太夫・澤源右衛門・小川大之進	状・1	
1	1-6	(君子、法と治について書付)	治人有而治法なし、この語を以世人只人二有法二あらずといふて…	—	—	—	状・1	
1	1-7	(書状)	今年御参府なられ西国御番の交代願のところ月蕃板倉内膳仰せ渡され珍重。ご下向の時分大坂伏見お立ち寄りの節内々頼入誂物固くご失念なきよう	—	—	—	状・1	右端に試し書きのような文字あり
1	1-8	(蝦夷一件につき箱館へ申遣候人別の内討死人別名前)		慶応3年カ	1967		状・1	
1	1-9	覚	茶道具代金領収。金二両一歩:細川三斎釜、御文掛物一幅、古筆吟味札添。 金一両:米津周防守作茶杓筒とも、古筆吟味札添。			いせや権市→塩川梶右衛門	状・1	
1	1-10-1-1	(和歌「湖上雪」)				通口	状・1	2通包紙入り (包紙)「上 神村義右衛門名ハ義高 義焉 義尹ハ雅号ナリ」
1	1-10-1-2	(和歌の説明と和歌三首)				通口	状・1	包紙入り
1	1-10-2	霞之伝	七字ノ仮名 イロハニホヘト…と、シノフモチスリ 十字ノ真名				切紙・1	(包紙)「忍文 霞之伝」
1	1-10-3	(唐僧系図)	圓悟克勤からはじまる唐僧系図				状・1	(包紙)「唐僧景図」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-10-4	(包紙)「上野・野津両先生 南田 米邨 信敬」					包紙・1	
1	1-11-1	覚	米村伴兵衛病死のところ嗣子なく娘 聲米村元三郎を死後一類願により 聲養子として遺跡130石仰せつけら れる	嘉永2年5月18日	1849	御勘定所→米村元三郎	状・1	(外包紙)「米村元三郎殿 御 勘定所」 (内包紙)「嘉永二己酉年五月 十八日 遺跡被仰付候節御書 附 給地所附折紙 米村範 美」
1	1-11-2	覚	20石島根郡大井村、25石神門郡松 枝村、35石同郡白枝村、20石同郡三 部村、30石意宇郡大庭村 を遺跡と して拝知	嘉永7年3月5日	1854	御勘定所→米村元三郎	状・1	
1	1-11-3	(覚書)	「嘉永七甲寅年三月五日 御名代大 野舎人殿より被下之 八代目 米村 恵左衛門」				切紙・1	
1	1-11-4	(包紙)米村元三郎殿 御勘定所				御勘定所→米村元三郎	包紙・1	
1	1-12-1	覚	堀尾氏入国から堀尾家断絶まで。円 城寺伝来の縁起から書き出したもの の写	享保18年写	1733		状・1	(端裏書)「円城寺より書出候 堀尾家松江在城之事」
1	1-12-2	(鯨組方担当名前書上)	鯨組方米銀錢預御用間→神門屋宗 兵衛、松江鯨問屋→末次材木町沢 屋伴左衛門、宍道町木幡屋佐七な ど	天保3年11月18日	1832	鯨組方内役吟味役心得 小村忠助、鯨組方 森田 儀三郎ほか3名	状・1	(端裏書)「天保三辰 此度鯨 組被相立捌方被仰付候名前」
1	1-12-3	御徒以下順席	徒、徒並、鷹方、台所方、坊主…小 人				状・1	
1	1-12-4	(徒以下系図)		宝暦11年9月26日	1761		状・1	(端裏書)「宝暦十一己九月廿 六日御徒已下段下り被仰出 写」
1	1-12-5	(松江藩の明細)	各郡石高など				状・1	
1	1-13	冥	偈曰寂正恵日光照破無明暗…				状・1	
1	1-14	(覚書)	米村伴兵衛老衰候付、御用人役御 免、御上下一具被下				切紙・1	
1	1-15	(書状)	其表にても相撲興行御座候由につ き番付お送り下され拝見した、ほか。	3月7日		神口勘蔵→米村新之丞	状・1	
1	1-16	疱瘡御守	大1包み、小4包み				包・1	

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-17	覚	金銭収支。「金一両 内一步おまつ 仲仕重兵衛へ」等。				状・1	
1	1-18	(和歌・讃)	荻野鳩谷和歌「なに事も満れはかくる 缺木鉢望の月見はくらせ世の中」 讃 応需寄生	文化11年	1814	応需寄生	状・1	
1	1-19	(倉崎権兵衛妻子ほか8人雲州へ罷越際の通行許可文)	倉崎権兵衛妻子ほか8人雲州へ罷越際の通行許可文	未年10月22日		松平大膳大夫内勝間田権右衛門→諸御関所御番衆中	状・1	
1	1-20	(封筒)直政公御銅像敷地ノ件ニ付伯爵御承諾書		大正3年10月		松平直亮→主催者 保義会会長 大橋茂右衛門	状・2	袋入り2通。もう1通は家従米村信敬→主催者8名
1	1-21	(楽山内樹木無断伐採につき詫び状)	楽山内樹木無断伐採につき詫び状	大正3年2月19日	1914	西川津木村善市ほか保証人→楽山御山番 野津菊太郎ほか5名	綴・1	(封筒)「木村善市差入」
1	1-22	武家官位略記	「文政十丁亥六月写之 米村」	文政10年6月写	1827		封筒・1	(袋)「侯家弁覧 武家官位略記」
1	1-23	(歳暮礼状)	肴一種	12月29日		斉恒→米村伴兵衛	状・1	包紙入り
1	1-24	(覚書)	雑多なメモ書き。文政13年8月東海道原駅にて人足が旅人の落した金子を届けた一件、生田無咎著についてほか。			—	状・1	
1	1-25	(刀の鑑定書)	南紀重国作、正真にて最上、刀味極上にて候	嘉永6年9月2日	1853	新宮小源次→滝川傳右衛門	状・1	参考の為写
1	1-26-1	米村家系譜	延宝4年卒元祖米村次郎右衛門(本国上総生国越前)～九代米村金之助(文久)				横帳・1	
1	1-26-2	親類書	米村廣の父母、祖母、兄、叔父			米村廣	状・1	
1	1-26-3	(年賀状)	伴兵衛54回忌につき本月25日より月中に御参詣くださりたく				葉書・1	
1	1-26-4	(院号・墓石寸法覚書)	御院号7人分				罫紙・1	
1	1-27	(権効口訣抜書 大坂御政治向抜書)	正徳5年和州本多家家来殺害一件、天保7年肥前守帰国の節、本陣関札撤去につき民部卿と争論一件	天保15年12月23日		米村		於大坂御蔵屋敷写之
1	1-28	(廻状)	出羽守国許への御暇仰せ出され首尾よく終わった旨知らせ	6月19日		米村伴兵衛→野殿宗右衛門ほか10人	状・1	

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-29	(江戸詰め藩士名簿)	筆頭内席順、平内席順、礼席順				小横帳・1	氏名は貼紙。剥離したのものもある
1	1-30	道中日記	買物帳	明治8年5月3日ヨリ	1875		小横帳・1	
1	1-31	十郡村別帳					小横帳・1	
1	1-32	百姓町火事書付(享保18年3月10日)	外中原、内中原、御花畑、ほか600軒消失	文政12年写	1829		綴・1	上田徳四郎蔵書、享保頃認め
1	1-33	出雲藩治八局 表	1から9等官				状・1	
1	1-34	火日記(文化14年から文政4年)	日付順、天候、気象				横半帳・1	
1	1-35	御代々様年数留	天保15年正月16日改。大悲院様、永修院様、浄心院様ほか	天保15年正月16日	1844	米村	横半帳・1	
1	1-36	加州石川郡宮ノ脇浦銭屋五平ケツ所一件		嘉永5年	1852	米村	横半帳・1	
1	1-37	御系図	直政～治郷				横半帳・1	
1	1-38	臣恵誠惶誠恐頓首々々死罪々々謹上書		宝暦11年正月	1761	宇佐美恵助	縦帳・1	
1	1-39	綴(表題なし)	御家中御戯作割合ほか				横半帳・1	
1	1-40	綴(表題なし)	法雲院様御召初御具足紫緘 一領、ほか				綴・1	青色掛紙
1	1-41	綴(表題なし)	皇太子殿下山陰道行啓ノ際松江行在所陳列室内松平家陳列書画説明書	明治40年5月	1907		綴・1	青色掛紙
1	1-42	御年忌之追憶	瑤光翁50回忌	明治45年3月14日	1912	黒川正健	綴・1	
1	1-43	(宛行状)		嘉永7年2月13日	1854	→米村恵左衛門	状・1	
1	1-44	(宛行状)		文化4年8月29日	1807	→米村伴兵衛	状・1	
1	1-45	(宛行状)	文政11年2月15日御名代柳多四郎大夫殿より被下之	文政11年正月18日	1828	→米村恵蔵	状・1	
1	1-46	遺物 (禅語墨書)天徳太寿	円相 喫茶去朱印あり				状・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-47	寿 天保十亥年 乙部公	大書院、上之間、次之間等飾り物	天保10年	1839		巻物・1	一枚に糊継ぎし、つないで巻いたもの
1	1-48-0	(包紙)願書手控		元治元年6月	1864	米村金之助	状・1	
1	1-48-1	(書状)	寸志御受納をお知らせ	6月26日		米村金之助→岡田様、羽山様ほか		
1	1-48-2	(書状、断簡)	御本宅より戌亥之肩二御建ものハよろし・・	亥9月			状、断簡	米村金之助
1	1-49	(書状)	新之丞様、殿様御機嫌伺い	2月朔日		米村伴兵衛→大塚久大夫		
1	1-50	証拠札 平	ひょうたん図ほか					(包み入り)
1	1-51	状(断簡)	古今著聞集部分のみ写					
1	1-52	大学之道者有明明徳有	八卦について	—	—		状・1	
1	1-53	月の十五夜	八卦について	—	—		状・1	
1	1-54	八卦天道二出ルト云	八卦について	—	—		状・1	
1	1-55	命有生の始二定ル	八卦について	—	—		状・1	
1	1-56	易ノ坤ノ六四二		—	—		状・1	
1	1-57	師説記聞厭勝秘訣	抜き書きか	—	—		状・1	
1	1-58	伯州境迄之渡海船之儀被下候旨	書状の裏紙は都の名所図について	—	—		状・1	
1	1-59	或問日御	修練について問う、答 人を教える者は真心に同和の場に至らさせた心術を成す事	—	—		状・1	
1	1-60	駅鈴之図		—	—		図・1	
1	1-61	詔	改号天保十五年為弘化元年	—	—		状・1	
1	1-62	(断簡)	凡売買宅地皆経所部官司申牒	—	—		状・1	

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-63	短冊形紙片	三史、四書、五経、七経、八代史、ほか	—	—		状・1	
1	1-64	司馬法、周礼小司徒職		—	—		状・1	巻紙の状態
1	1-65	(包紙)歳口	御隠居様雪淀公、殿様雪羽公、駒次郎様淀旭公	—	—		状・1	
1	1-66	(包紙)祝 稲垣了齊	岡山県人小原重哉、明石純、日野清三郎ほか名前あり	—	—		状・1	
1	1-67	(断簡)	一田六十四井 五百十二家 四千六百八人 一車七十二人出スほか	—	—		状・1	
1	1-68	(断簡)	清水元喜流松井邦彦先生—松本十郎右衛門定安—富永庄左衛門頭頭	—	—		状・1	
1	1-69	(書簡)	未だ役所へ勤めている云—、宛名・月日なし、下書きか	—	—		状・1	
1	1-70	大学解	メモか	—	—		状・1	
1	1-71	(断簡)	幼宮、滯、軟、逐、曹等の文字	—	—		状・1	
1	1-72	祝	漢詩 七言絶句三種	—	—	吉村彰、村井浚、林景敏→岡田翁	状・1	
1	1-73	(断簡)	諸侯三軍ほか	—	—		状・1	
1	1-74	(書簡)	御供可仕候	正月17日	—	勝右衛門→口兵衛様	状・1	
1	1-75	堯舜天下ヲ治タマイ化育四海ニ及ブトイエドモ洪水イマダ不治云…		—	—		状・1	
1	1-76	八卦天道二出ルト云	八卦について	—	—		状・1	
1	1-77	方万里	八卦について	—	—		状・1	
1	1-78	克法	陰陽克法秘決不克他見者也、裏天等傳	文政3年正月	1820	米観蔵藏	状・1	包紙入り
1	1-79	一井九百畝	八卦についてか	—	—		綴・1	こより綴
1	1-80	(端裏書)陽傳 二通之内	陽口口禄割下書	—	—		綴・1	こより綴

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-81	虜舎ノ地諸儒云処五畝之宅之内式畝半ハ城下又ハ村ニアリ		—	—		綴・1	こより綴
1	1-82	(断簡)	黄金百鎰為其貨・・	—	—		状・1	
1	1-83	(老子、莊子、朱子等一、儒者の諸也)		—	—		綴・1	こより綴
1	1-84	規矩要法目録		—	—		横半帳・1	こより綴、No.97に同名書あり
1	1-85	戦略考	春秋、西漢二十二、東漢ほか	—	—		横半帳・1	こより綴
1	1-86	管子考		—	—		横帳・1	こより綴
1	1-87-0	見合物		—	—		包・1	1-1-87-1~5一括
1	1-87-1	天地五行		—	—		状・1	
1	1-87-2	戦士百五十ほか		—	—		状・1	
1	1-87-3	五行、五事、八政、五紀、皇極、三徳、稽疑、庶徴、五福		—	—		状・1	
1	1-87-4	五服	田服、侯服、綏服、要服、荒服	—	—		状・1	
1	1-87-5	牧誓、戎車三百両		—	—		状・1	
1	1-88	(長さ)	亥三分廿間、戌三分四十間ほか	—	—		状・1	
1	1-89	卷之二、兵制、卷之三職制、卷之四編伍ほか		—	—		状・1	巻紙の状態
1	1-90	虜舎		—	—		状・1	巻紙の状態
1	1-91-0	(表書)智囊		—	—		袋・1	袋のみ
1	1-91-1	(断簡)	若予采・・	—	—		状・1	
1	1-91-2	(断簡)	易の図か	—	—		状・1	
1	1-91-3	(断簡)	六根清浄	—	—		状・1	前文欠

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-91-4	神拝礼式行事 護神身法初重～五重		—	—		状・1	
1	1-91-5	二十五間入三間	六寸竹、三寸竹ほか入用	—	—		状・1	
1	1-91-6	(断簡)	2枚。経済録第七 武備	—	—		状・1	
1	1-91-7	(断簡)	逆様竹、八ツ房桜	—	—		状・1	
1	1-92-1	(不昧書「臨水対雲」扁額拓本)		—	—		図・1	
1	1-92-2	(額の図面)		—	—		図・1	
1	1-93	六口王翼 第十八		—	—		状・1	
1	1-94	騎操		—			状・1	
1	1-95	(記録か)	寛永十五年御付送、慶安四一国一 円上り高二、寛文四年御判物頂戴	—			状・1	
1	1-96	規矩秘訣之巻	中身は坤の巻か	—			状・1	
1	1-97	規矩要法目録		—			横半帳・1	こより綴、No.84に同名書あり
1	1-98	鳶の細道文台硯箱の由来		昭和4年6月	1929	米村信敬	綴・1	掛紙使用
1	1-99	高蒔絵製作の由来	書画骨董雑誌196号(大正13年10月 号)抜粹	大正15年6月写	1926	米村信敬	綴・1	掛紙使用
1	1-100	奉送 君章先生之堺縣		—			状・1	
1	1-101	桃君に綽 赤坂邨学院席上より韻	軍務関係か	丁巳暮春(大正6年か)	1917	下坂口	綴・1	
1	1-102	充満也塞焉之義可以証也	君子の道・・	—			状・1	
1	1-103	(文久元年の時事)	近公(定安)、5月東都を発して国に 赴く。6月世子名を瑤彩麿と改むる。 10月老公天徳寺に香銀一枚を典 す。12月セイ楽院三十三回忌。	—			状・1	
1	1-104	或人謂予曰不可解之男也予曰性来愚 也因不可解		—			状・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-105	石国産玉君子斯生其徳如玉維侯是旌 其一～其六		—				
1	1-106	七十齡祝 昭和己巳歳旦	4枚同じもの	昭和4年			状・1	
1	1-107-0	稲妻雷五郎二関スル書類 封筒		—			袋・1	1-1-107-1～1-1-107-3一括 入り
1	1-107-1	目録 (証、証状之事ほか)		—			状・2	掛紙
1	1-107-2	証 (写)	紫化粧廻シ、注連縄被下	文政11年7月	1828	五條殿役所→稲妻雷五 郎	状・1	
1	1-107-3	証状之事 (写)	相撲力士門弟召抱候	文政12年9月	1829	本朝相撲司御行司吉田 口風→稲妻雷五郎	状・1	
1	1-107-4	稲妻雷五郎夫婦分れの事情		—	—		状・1	掛紙
1	1-107-5	根本(書状)	稲妻雷五郎顕彰碑計画につき、碑 文作成のため当時の事情を知りた い。	大正12年1月15日	1923	根本栄口→松平直亮	状・1	
1	1-108-0	太宗問対考入 (袋)		—			袋・1	
1	1-108-1	(舎車用騎二十五人・・)		—			状・1	
1	1-108-2	戎車三百両		—			綴・1	
1	1-108-3	(三千、六千、貳万七千、三万六千・・)		—			綴・1	
1	1-108-4	三分去一弁		—			状・1	
1	1-108-5	書	人を教るをハ真心ニ同和ノ場ニ口ら ざれば天ノ教ヲ受るヲハ・・	—			状・1	
1	1-109-1	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		佐和開	状・1	
1	1-109-2	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		箕作義	状・1	
1	1-109-3	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		片瀬徳輔	状・1	
1	1-109-4	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		岡故完	状・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-109-5	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		海彬之	状・1	
1	1-109-6	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		浦世徳	状・1	
1	1-109-7	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		吉村述彰	状・1	
1	1-109-8	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		源忠良	状・1	
1	1-109-9	奉賀 桃白鹿先生七十初度		—		山上定保	状・1	
1	1-110	田制図解		—			図・1	
1	1-111	唐制服図 ほか		—			図・1	
1	1-112	人等傳	布陣法伝書				巻物・1	虫損
1	1-113	天等傳	治世伝書				巻物・1	虫損
1	1-114	日月傳	陰陽道伝書				巻物・1	虫損
1	1-115-1	営算	陣営法伝書				巻物・1	1-1-115-2を巻込む
1	1-115-2	起請文前書之事	兵法相伝二付起請文				継紙・1	
1	1-116	三等傳	天地之徳、人道之極ヲ説ク。				巻物・1	
1	1-117	(周礼力)	周官制度一以井田為本孔子…				巻物・1	
1	1-118	(中国の思想力)	子思時老莊從盛興リ…				巻物・1	
1	1-119	規矩秘訣 坤之巻	測量法伝書か。清水元喜流 松本邦彦先生	明和3年5月吉日	1766	松本十郎右衛門尉源定安・富永庄左衛門尉藤頭→米村恵左衛門	巻物・1	
1	1-120	師説紀聞奥秘 陰陽極言篇						
1	1-121	淀江王立法帖 菱湖老人写	手習か。漢詩(奉和聖制瑞雪篇)			菱湖老人書写	冊子・1	表装

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-122	中臣禊	詔か	元禄6年11月5日		市川浅之助	折本・1	
1	1-123	(絵画習作一括)	植物、人物画、模写など				一括	
1	1-124	(中国画)	中国画(風景)と画賛の部分のみ筆写したもの、人物画(勝寂?筆)の3点を一緒に巻く	嘉永3年			絵画・2 墨書・1	
1	1-125	(風景画)	湖上に漁師。			伊川院筆	絵画・1	
1	1-126	送(送別の漢詩か)	先生が出雲に帰る前に書き送ったもの			太田信史	状・1	
1	1-127	(軸装)	紙が劣化(焼けた?)のため剥落、本紙はなく表具のみ残存				軸・1	「山陰新聞」大正14年3月8日「祝萩線益田小浜間鉄道開通」の紙面で包む
1	1-128	(墨書一括)	「静観」「碧雲雲」「読聖賢書所學何事」の墨書	大正甲子		稽古館主人子僕	墨書一括	「昭和34年3月28日 官報号外」で包む
1	1-129	墨書「口花清御身」「祥開黄道乾坤潤瑞紅雲日月光」				得口三昇ほか	墨書・2	
1	1-130	紀伊中納言治宝公御製作	仁過ればよわくなる義…				状・1	黒い紙に金字
1	1-131	(水墨画)	蘭の絵か。「口唐白帟叢生晴蘭」、半江田齊賛				絵・1	
1	1-132	(和歌写、(書状)写)	和歌:三囲山稻荷社所蔵を写す 書状:正月二日 武蔵守→亀井六郎殿(社参のため馬を借りる旨) 白抜き文字				状・2	和歌は天保乙未写
1	1-133	墨書「群龍」「口符心」				「口符心」:慈修 「群龍」:易蔵	墨書・2	
1	1-134	墨書「一口庵」	茶室扁額か				墨書・1	
1	1-135	(拓本)	石碑の拓本か。「口雀翁 かけはしや命をからず口かつら」				拓本・1	
1	1-136	墨書「無半」				易蔵	墨書・1	
1	1-137	水墨画「遠寺晚鐘」写	松浦肥前守殿御所持				絵・1	
1	1-138	廓庵和尚十牛之図				大石良雄画 原元辰書	巻物・1	印刷(黒地に白抜き) 「山陰新聞」大正14年1月1日紙面で包装

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	1-139	(和歌集)	人麿「龍田川紅葉こなかるかみなみの…」など				巻物・1	
1	1-140	(漢詩)	竹駒口原尋旧国也米兄馬祝俱動向…			如鳩浚士	墨書・1	
1	1-141	(漢詩書)	漢詩4種、新年を祝う、「乙丑歳抄即事」、「丙寅新年」とあり	乙丑～丙寅		—	状・1	
1	1-142	(墨書)松声	(印)「松■直高」「簡堂」	—		簡堂	状・1	虫損大
1	1-143	(不昧書扁額拓本)	「臨水対雲」「文化二乙丑五月不昧書之」	—		—	拓本・2	1枚の扁額を分割して拓本
1	1-144	(歌碑拓本)	「吹風を…」で始まる千載集選和歌を刻した碑の拓本	—		—	拓本・1	大
1	1-145	(扁額用の書)	「碧雲堂」	大正13年11月	1924年	常真道人	状・1	
1	1-146	(座右銘書)	「無道人之短無説己之長施人慎勿念受施…/右崔子玉座右之銘 復	—		復卿	状・1	
1	1-147	(卦)	「五割減之卦」図、「方文南針 □船南針 度数」	—		—	状・1	
1	1-148	(漢詩7種)	漢詩及び箴言を記した小片7種、「夜熱不來眠…」、「岸下誰乘舟…」、「当前」ほか			精齋、雪橋園、	状・7	7枚を紙縫でまとめる
1	1-149	(祝詞(断簡))	「天磐座放天八重雲伊豆千別…」で始まる	—		—	折帖・1	
1	1-150	中等海石習字帖 上	訂正三版	明治45年4月5日	1912年	宝文館編輯所編纂、村田蔵著、宝文館発兌	折本・1	
1	1-151	(習字手習いカ)	「山川より鮎のくたるかたにこれやこのすくる月日の早き川…」	—		—	折帖・1	墨汚れ
1	1-152	千字文 文徴明四体之書	板本	嘉靖戊申閏七月			折本・1	
1	1-153	(漢籍、題箋読めず)	板本、巻頭に「楚州淮陰県娑羅樹碑并序」	明隆壬申秋日		—	折本・1	
1	1-154	山田柏亭墨跡集 下	(表紙・裏表紙のみ)	—		—	表紙・裏表紙	
1	1-155	(漢詩7種)	漢詩裏打ち紙片7種、「よしの山…」で始まる和歌記した木片?1	—		—	状・7、木片?・1	※後で時間あれば詳細みることに

了

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-1	茶祖伝	利休以後系図他				縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-2	遣州				前大徳由寶岐書	縦帳・1	
1	2-3	利休好聞書図物写	道具類写図				縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-4	抛入花之書 全		安永2年癸巳孟春	1773	閑市庵一掌	縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-5	駿州公覚書「一庵口話日記」	一庵口義	寛文13年3月10日	1637	正喬記ス(廿七歳)	縦帳・1	「寛文十三年癸丑三月十日於上屋敷口口一庵江参会則聞所ヲ記」 (朱印)「竹廼屋印」
1	2-6	雲州御流儀台子伝書 全					縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-7	伝心録頭書				寸草軒	縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-8	雲州流茶事扱百ヶ條 他見不許	上の巻	天保13年10月15日	1842	友交庵宗儘(印) 友交庵竹誓	縦帳・1	
1	2-9	雲州流茶道秘書	千家系図他	文政10年12月	1829	景山清衛門写	横帳・1	「于時文政十亥十二月江戸鞠町御屋敷住居にて写之候者也 景山清衛門(花押)」
1	2-10	(題箋剥落)	数寄道心二付いて寛保元西暮冬日の不昧公著述書	寛延2年己巳初冬		一咄庵昌宅跋	縦帳・1	版元「京都寺町二条下ル野田彌兵衛祖春。書林江戸本石町十軒店野田太兵衛量久」
1	2-11	雲集流茶道扱物極秘書 他見不用	茶道秘伝書写	弘化2年3月	1845	友交庵宗儘(印)	横帳・1	「息心庵君寫写」
1	2-12	雲集流茶道扱之大秘書 他見不許	茶道秘伝書写	弘化元年辰年	1844	友交庵宗儘(印)	横帳・1	「右者息心庵君村田青山君より拝借。天保十三年寅年より相窺弘化元辰年写之」
1	2-13	(表紙剥落)	数寄者論(三斎公)				冊子・1	印刷
1	2-14-1	売記々乃布美(めきゝのふみ)	極秘目利書。茶入・茶碗諸器物・塗物・銅物。	天保10年8月吉日	1839	一笑軒	横帳・1	
1	2-14-2	免記々乃布ミ(めきゝのふみ)	極秘目利書。茶入・茶碗諸器物・塗物・銅物。	天保10年8月吉日	1839	一笑軒写	縦帳・1	「于時安政七申弥生写之」
1	2-15	台子之書 紀州七澤家伝 全	三斎流極秘書之内 二十一段	天明7年	1787	紀州七澤家伝	縦帳・1	「天明七年 一雲庵師伝之趣記畢。寛政六年 一口庵拝写・文化二年 一翫庵拝写・文化九年 自得庵拝写」
1	2-16	雲州流茶道極々大秘書也他見不許	茶道極秘書			息心庵竹苞所持	縦帳・1	「弘化二年己臘月吉日 友交庵宗儘(印)所持」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-17	極秘書	真台子奥秘書			友松庵宗風写	縦帳・1	
1	2-18-1	台子之覚 上	草之唐物茶入ヨリ真之長板				縦帳・1	虫損・汚れ
1	2-18-2	台子之覚 中	草之台子行之台子 両尊人				縦帳・1	虫損・汚れ
1	2-19-1	御流儀三百箇條 上					縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-19-2	御流儀三百箇條 中					縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-19-3	御流儀三百箇條 下					縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-20	御流儀会石手続扣	雲州流懐石亭客大法	天保10年2月写	1839	門脇氏	横半帳・1	「元治元甲子八月吉祥日 門脇氏」
1	2-21	石州流茶道心覚留 不豆		天保4年1月	1833	此主秋山氏	縦半帳・1	
1	2-22	茶道々具附	道具書上	文久3年文月	1863	松濤庵蔵書	横半帳・1	
1	2-23	三斎流茶道聞書		明治15年2月	1882	松濤庵	横半帳・1	
1	2-24	楽統譜	楽家系図他			寸竹軒	縦・横合綴帳	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-25	東山御盆寸尺他写	盆寸尺・能相之伝他三斎流抜摘				縦帳・6綴	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-26	茶道要提	細川流・三斎流写				縦帳・1	
1	2-27	一庵翁自筆之写 茶杓花筒伝授之書	路地之書他				縦帳・3綴	(朱印)「竹廼屋印」・「富永氏」
1	2-28	茶具	茶具図	天保年間		六十七翁香齋実書	縦帳・1	
1	2-29	三斎流茶道聞書	一掌先生口議聞書	明和5年4月吉日	1768	一数軒	縦帳・1	
1	2-30	及台子・長板六段秘書 細川流	茶伝書			愈好庵	和綴本・1	
1	2-31-1	細川三斎茶の湯書	茶の湯伝書 上の巻				縦帳・1	
1	2-31-2	細川三斎茶の湯書	茶の湯伝書 中の巻				縦帳・1	

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-31-3	細川三斎茶の湯書	茶の湯伝書 下の巻				縦帳・1	
1	2-32	(細川流茶書抜書)	道具・しつらい他				和綴帖・1	
1	2-33	落穂草	金閣寺桂月亭の図他茶室 図・作法伝書				和綴帖・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-34	売茶翁数寄正道物語	新斎夜話之中から抜書				縦帳・1	(朱印)「富永氏」
1	2-35	結記抜粹	各種紐結び図解				和綴帖・1	
1	2-36	書院床飾	床飾色彩図解				和綴帖・1	
1	2-37	三斎流伝書之部・茶杓吟味書附	当流群尽抄・茶杓図三十 枚	文化15年5月	1818	河津氏	縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-38	茶道具書上	各種道具収納場所記載				小横帳・1	
1	2-39	茶事秘録	伝書名書上	明治5年申10月	1872	花月庵教斎→新々庵様	横半帳・1	
1	2-40	滅後書 全部	伝書写	享保20年10月19日	1735	安藤定房→小菅因幡守殿	縦帳・1	「滅後の書一巻半々庵より伝来の処 多年任御懇望者也 半寸庵」
1	2-41	木のめのしをり 完	茶伝書	天保4年	1833	不器斎陳人藤原重熙	和綴帖・1	
1	2-42	木のめのすさび	台子伝書				縦帳・1	(朱印)「富永氏」
1	2-43	このめのすさび	直指庵君御献立なり 懐石献立	弘化4年	1847		縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-44	冬のすさび	茶事手前図説	明治26年11月なかつ かた	1893	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-45	道のしるへきそひ	三斎流図物			たけのや蔵書	縦帳・1	
1	2-46	秋のすさび	奥宇賀黄泉穴見物記	明治12年11月15日	1879	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-47	あさひやままうでの文	朝日山詣記	明治26年4月	1893	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-48	比波の山まうて記	能義郡横屋村図付	明治10年2月17日	1877	たけのや	縦帳・1	
1	2-49	すがやままうでのふミ	須我山まうて記	明治21年新冬月	1888	たけのや宗敬	縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-50	四季のはな(よつときの花)	献立料理・材料名	明治26年	1893	竹廼屋宗敬	縦帳・1	
1	2-51	袋たなのちはひ	袋棚手前伝書	明治31年12月	1898	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-52	はなのやまち	桜井氏茶会記	明治28年4月	1895	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-53	道の八千種をり添	随筆「同じ言葉の道を尋ねる」	明治26年4月	1893	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-54	をほさきそのふの文	大崎名園記写・茶室図	文政12年丑3月24日	1829	越後国中蒲原村松一閑庵堀丹波	縦帳・1	
1	2-55	とやまの春	徳川大樹君尾張公の戸山屋敷に臨席時の肥前守佐野義行記述文写し	明治26年3月	1893	たけのや宗敬	縦帳・1	「寛政五年三月廿三日」
1	2-56-1	うひ山ふミ	茶事伝授書			たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-56-2	うひやまぶミ	茶事伝授書	明治23年6月10日	1890	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-57	利休茶之湯献立	茶事献立写し				縦帳・1	
1	2-58	ものわらひ	大東町遠藤万次郎方茶会記	明治29年11月	1896	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-59	春の玉藻	糸原家茶会記	明治27年4月	1894	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-60	木のめのつとへ文	利休居士二百五十遠忌追善茶再建不審庵二於いて紀州公御茶道頭表千宗佐	明治23年4月	1890		縦帳・1	天保十亥十月十七日茶会記写し(朱印)「竹廼屋印」
1	2-61	木のめのをくか	茶事伝授書写	明治31年6月20日	1898	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-62	木ののしをり	薄茶点前伝授書	辛卯(明治24年)4月	1891	たけのや宗敬	縦帳・1	(朱印)「竹廼屋印」
1	2-63	木のめの翁霊祭の文	明治廿二年十一月八日利休居士三百回忌追悼茶事	明治23年4月	1890		縦帳・1	
1	2-64	木のめのをしへ草	茶道具解説書	明治25年冬月	1893	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	2-65	南坊録 墨引秘書略摘	台子伝書	享保18年正月27日	1733	半寸庵	横半帳・1	「右墨引之書一卷半々庵伝来之所数年任望者也」
1	2-66	不昧公御筆巻物写茶道秘事目録弁書	茶湯伝授極秘			半寸庵	縦帳・1	「半寸庵ハ伊佐幸琢ノ庵号 三代」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-67	宗雪録	間中庵草休師懐旧記。 数寄屋図。				縦帳・1	虫損。(朱印)「竹廼屋印」
1	2-68	群書類聚 三百六十一	道具方附 君台観左右帳 記 御飾記 大乙			検校保己一集	和綴帖・1	
1	2-69	星岡茶寮規約		明治17年3月	1884	麹町公園内 星岡茶寮	罫紙綴・1	規約写
1	2-70	中興名物茶入部	茶道具価格付書上			伏見屋甚右衛門	縦帳・1	
1	2-71	(包紙)茶の湯	天目建他作法				切紙・7	
1	2-72	遠州公名物鑑 裏打可致もの	茶道名器目録他				印刷物・3	
1	2-73	茶酌花筒口訣私記類 無所得庵 夕ヶ定規二本・茶酌口訣鈔	茶酌説明書・定規二本				小横帳・1 定規2本	
1	2-74-1	覚	金貳両 尾州御二代光友 卿案之絵御自我賛右筆了 仲吟味札添 御筆之内稀	6月15日		いせや権市→梶右衛門様	切紙・1	
1	2-74-2	覚	金壹両五分 一巻伊織作 茶杓			いせや権市→梶右衛門様	切紙・1	
1	2-75-1	三斎流茶道大秘伝	大秘伝書・添書	文政13年2月	1830	一清庵清溪→自得庵苔休 様	切紙・3	1-2-75-1.1-2-75-は紙綴一括 (包紙)「柿沼圓蔵様・高木正太郎様 芦田苔休」
1	2-75-2	三斎流御流義 間中庵先生に拵もらい 候真ノ茶巾・しほり茶巾雛形二枚	茶巾雛形二枚在					
1	2-76	(茶道伝授書)	壺底取り様事「底取ること を底をつる法という。」	壬申年11月15日		龜齡八十一歳	横帳・1	
1	2-77	手続之段	待合の作法に付いて三谷 氏ニテ写す	丑年9月17日			継紙・1	(端裏書)「不昧公待合手続」
1	2-78	掟	茶会之大法			南坊・宗易	継紙・1	
1	2-79	(釜師大西家系図書写し)					折紙・1	
1	2-80	(紋章図三枚)					切紙・3	
1	2-81	(田ノ面積書上)	式丁七反八畝拾歩五厘余				切紙・1	
1	2-82	(茶道伝授書)	風炉手前図説				横半帳・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	2-83	(文机函・文具書上)					縦紙・1	
1	2-84	石州流曲尺之書抜書	曲尺之事・書院文具飾り方等				縦帳・1	(朱印「」富永氏)
1	2-85	三種極真之飾抜書	長板飾函説				縦紙・5	
1	2-86	有体動産賃貸借契約証書正本	棗他茶道具・衣類等書上	明治31年10月23日	1898	賃貸人米村信敬→賃借人藤川善之助	罫紙綴・1	
1	2-87	天目研究 全	箒庵主人の命に因り箒庵文庫蔵書中より天目に関する記事調査書	大正7年2月16日	1918	梅園誌	罫紙綴・1	大正7年8月5日発の松江市長勸告状を挟む。「米価暴騰に付所持米供出依頼状」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-1	調息馬術	①息合由来 五音変息②六亭篇③附録 馬具・名所④馭馬⑤調息馬術五馭(切紙)	不詳		石田貞利・石田雲鬼	横半帳・4 切紙・1	印「泉正」
1	3-2-1	右四順 晁鷄之沸於函鼎	兵法関係か	不詳			綴・1	(袋)「三營図考」
1	3-2-2	(語彙覚書)	漢詩や和歌などに書かれる言葉の意味を箇条書にしたもの	不詳			横半帳・1	
1	3-2-3	(覚書、落書)	伊勢を詠んだ歌、壱石四斗など数字、兜・僧侶?怪物の落書き。裏は五行八卦を記した紙を貼付。	不詳			切紙・1	
1	3-2-4	(要塞の図力)	壁と思われる部分を青く彩色	不詳			絵図・1	
1	3-2-5	(布陣の図)	中將を中心に旗・鼓などをを前、歩士・ヤリなどを後に配置、その人数を記す	不詳			1枚	
1	3-2-6	(布陣の図)		不詳			1枚	
1	3-2-7	(口雷之変・返翼之変の内容)		不詳			切紙・1	
1	3-2-8	戚氏陳図		不詳			1枚	
1	3-2-9	(布陣の図)	兵の並びと五行との組み合わせ	不詳			1枚	
1	3-2-10	(三重の正方形)	線は朱字	不詳			1枚	
1	3-2-11	(マス目に郷師、慕などと書かれたもの)		不詳			綴・1	
1	3-2-12	大八陣之図・中八陣之図	厚紙に布陣が描かれる	文化15年正月	1818	光般	1枚	
1	3-3	馬術調息伝統之系		寛政10年12月18日	1798	石田斧八貞利	軸物・1	
1	3-4	萬式千五百為一軍再考 官制・邑制	「萬式千…」の方は兵法か。	不詳			横帳・2	
1	3-5	鍵槍兵法詠倭歌序	兵法の極意を詠んだ和歌	文化10年4月吉日	1813	齋藤茂左衛門章甫→米村新之丞	軸物・1	(包紙)「目録 米村姓」
1	3-6-1	不伝流兵法目録		文化元年6月吉日	1804	荒木円左衛門徳候→米村惠蔵	軸物・1	(3-6包紙)「進上 免許 総目之巻壺軸 伝統之巻壺軸」

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-6-2	不伝流外目録	付紙(付属授与 文政元年10月稲生田武右衛門→米村新之丞、弘化3年4月荒木恵助武俊→荒木左次兵衛→米村辰之助)	文化元年6月吉日	1804	荒木円左衛門徳候→米村恵蔵	軸物・1	
1	3-6-3	冥偈	後年追加の授与あり	①文政2年12月3日②嘉永4年3月5日	1829 1851	①権征軍師洞龍剛弼 横田新兵衛源景義・権征軍師稚龍剛弼 横田助三郎源景雄 ②権征軍師稚龍剛弼 横田新兵衛源景德→米村元三郎	軸物・1	
1	3-7	(城法・備法・陣法の皆伝状)	後年追加の授与あり	①文化13年9月3日 ②嘉永元年12月10日	1816 1848	①権征軍師洞龍剛弼 横田新兵衛源景義・権征軍師稚龍剛弼 横田助三郎源景雄 ②権征軍師稚龍剛弼 横田新兵衛源景德→石田元三郎	軸物・1	(包紙)「巻物 一軸」
1	3-8	調息総目之巻		寛政10年12月18日	1798	石田斧八貞利→米村恵蔵	軸物・1	(包紙)「目録」
1	3-9	榎原流鍵槍目録	追加で代々授与され、最後は嘉永5年10月吉日山内嘉兵衛→米村元三郎	文化3年4月吉日	1806	笠原五郎太夫時至→米村恵蔵	軸物・1	(包紙)「巻物 一軸」
1	3-10	(握奇并諸役武者相伝書)	旗本の兵事の諸士隊列に関する伝書	文化15年5月	1818	八木観茂光口(花押)	折本・1	
1	3-11	中免許	陣形、城法、備法、陣法など				和綴本・1	
1	3-12	(「景」一字相続許状)		文政6年12月15日	1823	景雄→米村新助	状・1	
1	3-13	要門極秘巻	兵法の極意を箇条書にしたもの				横半帳・1	
1	3-14	(真剣伝相伝書)	龍眠穩(劔刃・満徳・神武)	文化元年6月日	1804	荒木円左衛門徳候→米村恵蔵	状・1	(包紙)「真剣伝」
1	3-15	(真剣伝相伝書)	龍眠穩(劔刃・満徳・神武)	弘化3年4月吉日	1846	荒木佐次兵衛武次→米村辰之助	状・1	(包紙)「真剣伝」
1	3-16-1	(封筒)刀ノ精神	封筒のみ				封筒・1	1-3-16はこよりで一括
1	3-16-2	(泉立院正段潔齋居士絶筆)	「泉立院正段潔齋居士 五七日忌」と記した札も同封 「死生有命口項愁定尽人生八十秋…」				状・1 切紙・1	(包紙)「絶筆 潔齋安井泉甲子一月念日没時有 床側几上書干巻紙即前日午前所書」 包紙、中の状などすべて印刷。

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-16-3	(歴代藩主命日、歴代藩主戒名)	はじめに「東照宮」とあり、高真院・宝山院…直指庵(直指庵は命日の記載がない)				切紙・2	紙が黒く変色している
1	3-16-4	(極札)	「不昧公御青年之御筆 鞆路生秋草云々」			米僕謹鑑	切紙・2	2枚とも同じ内容
1	3-16-5	御刀縁頭御鍔下絵 谷寛寿	「玉廷」「左慈」とあり、中国風な図柄。				包紙・1	包紙を開くと中央に下絵(切紙3枚)を貼付
1	3-16-6	(絵の作者、題を書いた札一括)	「不昧公御筆」「伊川月之画」「不昧公御讚」「玉映様御幼年之御筆」などと記した切紙を一括包紙に包む。うち1枚に「米口謹識」とあるので、米口氏が書いたものか。			米僕力	切紙一括	包紙(雑誌か新聞の反古紙)に一括
1	3-17	(大阪陣の図)	本図は天王寺屋五兵衛秘蔵で落城の節売広め一枚摺の板行だが、籠図の上に経年により所々不明により林氏が漉き写し所持のものを借りて模写した、と注記あり。	弘化元年12月中旬	1844	於大坂土佐堀白子町雲州公館 米村光昇	絵図・1	
1	3-18	柔道業術中央書抜書	柔道の根本についての説明。				状・1	(包紙)「柔道中央書」
1	3-19	(陣形図)	「小八陣之空地百六拾之内江可入此営」				図面・1	80cm四方くらいの大判
1	3-20	忠勝蜻蛉切之図	「本多平八郎忠勝所持之鏝蜻蛉切之写」 槍の表、裏の写				図面・1	
1	3-21	(伝書受状)		明和3年7月	1766	米村和道→富永顕頭師	状・1	
1	3-22	居相鍵槍師役系図	不伝流居相術系図	天保10年10月27日	1839	米村光昇	横半帳・1	
1	3-23	(調息馬術由来および十ヶ条)					横半帳・1	
1	3-24	新刀名劔鑑・吉刀鑑(見立番付)				川津村 井戸内孝発行	印刷・2	
1	3-25	(刀鍛冶人名鑑)	刀鍛冶の由来、刀鍛冶各人の説明など				縦帳・1	
1	3-26	末灯記抜書	刀についての用語解説	大正11年3月	1922	和田精堂写	縦帳・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-27	(名刀図鑑)	伊勢貞丈家蔵小烏丸太刀、源將軍頼義太刀、那須氏蔵遠祖宗高太刀ほか。刀全体と部品の詳細な説明。				巻物・1	
1	3-28	古新刀劔中心押形帳	刀の押形(拓本)を国ごとに収録			森本古計	縦帳・1	
1	3-29	御大小身中心押形	名刀押形集「慶応三丁卯九月ヨリ御刷被仰付候分」	慶応3年9月	1867	森本	縦帳・1	
1	3-30	(名刀押形集)	文章は全くなし。				縦帳・1	
1	3-31	刀劔目利書	刀の分類を「魂魄五体国分之書」として備後国・山城国・九州物・相模国・大和国に分け、それぞれ木火土金水春夏秋冬などに分類し、特徴について説明したもの。				縦帳・1	
1	3-32	刀劔会誌	刀劔品評会の記録。明治41年1月11日の第66回から第99回(年記載なし)7月5日まで。会場は会員の持ち回り。米村氏のほか高橋、福岡、伊東など。	明治41年1月11日から	1908	稽古館主人	ノート・1	
1	3-33	刀話片々(刀劔会誌大正十三年五月号ヨリ)	刀劔についての知識を箇条書にまとめる	大正13年	1924	三止水谷人	縦帳・1	罫紙
1	3-34	(刀模写)	原寸大か。刀の銘などの記載はなし。				図面・1	灰色の紙を刀劔にあわせ細長く切ったもの
1	3-35	口伝書(不伝流居相伝書)		寛政8年8月	1796	米村恵蔵・新之丞・辰之助宛	横半帳・1	
1	3-36	調息馬術 馭馬 曲道伝・直道伝・中道伝・有致伝・無致伝(調息馬術相伝書)		天保9年11月15日	1838	石田五兵衛貞経→米村辰之助	横半帳・1	
1	3-37	鎧着用之図	鎧の着用方法図解				縦帳・1	
1	3-38	十字之大事(伝書)	居合の教え。天・龍・虎・王・命・勝・呪・水・大・円の十字	文政2年12月3日	1819	三輪万兵衛景光→米村新之丞	状・1	(包紙)「十字之大事」
1	3-39	采幣之巻(伝書)	兵事における采幣の振り方				状・1	(包紙)「采幣巻」
1	3-40	采令之巻(伝書)		嘉永元年12月10日	1848	権征軍師稚竜剛弼横田新兵衛源景德→石田元三郎	状・1	(包紙)「采令巻」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-41	(陣形図)	小八陣・中八陣・大八陣				綴・1	
1	3-42	(陣形図)	八陣一隊四百人四八三千二百人四分之八百人中陣トス				図面・1	
1	3-43-1	(差紙)	御用に付き明5日朝五ツ時登城のこと	7月4日		増田六左衛門・根岸佐次右衛門→米村新之丞	状・1	(包紙)「頂戴御銀并御目録御差紙被仰渡書附入」
1	3-43-2	(差紙)	御用に付き明15日朝六半時継肩衣着用登城のこと			増田六左衛門・服部権四郎→米村新之丞	状・1	
1	3-43-3	(書付)	毎年銀2枚軍用方より内々下される旨仰渡につき柳多仙石両名御礼として廻勤	文政12年12月7日			状・1	(端裏書)「新助二枚銀被下候節書付」
1	3-43-4	(書付)	御仕置所にて諸事志厚身持宜敷につきご褒美下される旨達せられる	文政2年12月15日			状・1	
1	3-43-5	(書付)	御仕置所にて、御軍用方書役御雇仰せつけられ毎年銀5枚下れる旨達せられる	文政3年7月5日			状・1	
1	3-43-6	(目録 銀一枚)					状・1	
1	3-44	(入門許可状)	「文政十三庚寅年正月八日入門」の札が一枚入る	文政13年正月		米村辰之助宛	状・1	(包紙)「御墨判」
1	3-45	(入門許可状)	「享和三癸亥年正月八日入門」の札が一枚入る	享和3年正月8日			状・1	(包紙)「御墨判」
1	3-46-1	師説聞書(易経の伝書か)	度数(四五陰陽中数、人体一丈四分之制、両手両足四分之、など色々な寸法が記されている)				状・3	3枚を重ねて巻く
1	3-46-2	師説聞書(易経の伝書か)	3-16-1と同。系図もあり。				状・5	(包紙)「伝書」
1	3-46-3	師説聞書(易経の伝書か)	「河洛第二」				状・1	
1	3-46-4	(書状)	肴一種の礼状			松平齊恒→米村伴兵衛	折紙・1	包紙あり
1	3-46-5	(農民に関すること)	「土農工商ヲ四民ト云…」				状・1	
1	3-46-6	本心鏡智流秘書	本心鏡智流槍術	文化7年正月吉日	1810	安藤惟貞写	横半帳・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-46-7	日土圭加文	日時計の法。「寛政五年多々納忠三郎抛天文家山路久次郎所伝日土圭之法而作」				状・1	
1	3-46-8	古人数寄屋寸法書	紹鷗、宗易、古田織部などの茶室図解				縦帳・1	
1	3-46-9	陰 一備 行軍 小屋 操棟	兵法に関する書				折本・1	
1	3-46-10	不伝流工夫物	居合56ヶ条				横半帳・1	
1	3-46-11	(樂山茶碗「野支」、花入一つ入手にいたるいきさつ)		弘化2年2月16日	1845		横半帳・1	表紙に「他見秘ス 竹誓自控」
1	3-47	(「蕎麦の薪き時」ほか切紙)	「蕎麦薪時 すばる星の九ツに夜明ヶ候節能蒔時に御座候」				切紙・3	(包紙)「伝書」
1	3-48-1	(隊列に関する覚)					綴・1	(3-48包紙)「三隊戦」
1	3-48-2	(隊列に関する覚)					綴・1	
1	3-48-3	虎巻大事	八嶋源平戦、明智日向守、秀吉の戦を図式化				状・1	
1	3-49	(日置流弓術伝書)	裏もある(弓術に関する内容)				巻物・1	
1	3-50	(鈴録考)	巻一兵賦 方百里ノ国壺万井此解予カ兵賦考二記之…				切紙・1	
1	3-51	阳陣	隊列について				状・1	
1	3-52	陽一陣 三隊					状・1	(端裏書)「円」「陽」
1	3-53	(隊列に関する図解力)	一局九十人 旗三十人(隊長三人火兵三人旗惣 など)				状・1	
1	3-54	迎貝陰陽七五三(ホラ貝、太鼓の吹き方)	吹き方を赤と黒の丸で示したもの				状・1	
1	3-55	(隊列図)	1枚は方眼紙状に線を引いたもの。1枚は隊列を図式にしたもの。				図面・1 切紙・1	
1	3-56-1	十一 九十一 考	郷隊十一制、野外九十一				横帳・1	(1-3-56封筒)「兵賦考 井地考 陰一備」
1	3-56-2	太宗問対考	臣請師三高、太宗曰天地風雲など項目あり。				横帳・1	
1	3-56-3	(布陣の図)					図面・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	3-56-4	(兵法)	四丘ヲ旬トスは一車ノ法ノ起 処ニシテ…				横半帳・1	
1	3-56-5	大六花陣図	図解				図面・1	
1	3-56-6	(布陣の図)	朱青黄黒の線上に人数を示 す				綴・1	
1	3-56-7	聞書	年賦術、孕納、孕不足など計 算方法の問答		酉卯		横半帳・1	横半帳の半分 酉卯は人名と思われる
1	3-56-8	(城絵図)	敷地の寸法が記入され建物 の記載はない。				図面・1	
1	3-56-9	陽握奇大將軍備					図面・1	
1	3-56-10	(布陣の図か)					綴・1	綴り紐に「太宗」と書かれた紙片 がつけられている
1	3-56-11	(布陣の図)	朱青黄黒の線上に人数を示 す				綴・1	1-3-56-6の同類
1	3-57-1	(布陣の図)					図面・1	(1-3-57袋)「陰一陣々図」
1	3-57-2	(布陣解説)	六花三萬六千人 など				状・1	
1	3-57-3	(布陣の図)	一隊五車五隊二十五車一師 之図				綴・1	
1	3-57-4	陽握奇大將軍備	布陣の図				図面・1	

了

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-1	出雲風土記考 仁多郡 巻九			—	横山永福 著 米村宗敬 校	縦帳・1	
1	4-2	隠岐のすさび		—	—	日置風水	縦帳・1	
1	4-3	出雲陶物師次第	楽山窯之次第 倉崎権兵衛から加田、土屋、長岡、永原への継承、楽山の呼び名について昔はギョウザンと称し今はラクザンという	(天保10年)	1839		縦帳・1	竹廼屋印・富永氏印有り
1	4-4	将順篇 丙申七月ヨリ 長尾氏岩崎氏之外一覽無用	齋貴公の逸話収録	天保7年7月	1836	富永富徳 識	縦帳・1	
1	4-5	夢中随筆	君(齋貴)の側近として心得るべき教訓書	天保5年10月	1834	神谷富徳	縦帳・1	天保7年6月再清書綴り
1	4-6	夜船閑話		宝暦7年1月	1757	究乏庵主飢凍稽誉題<白隠和尚会下学僧ノ名>	縦帳・1	
1	4-7	舟弁慶	謡の教本	—	—	—	縦帳・1	
1	4-8	(格言漢語・格言和歌)	慎於言為過之垣・勵於行為恥辱之垣・此草に露の情をかけよかし代々 命守命守に命守は	—	—	—	縦帳・1	
1	4-9	習物七ヶ条	池坊華道相伝書	昭和37年6月	1962	池坊専永→米村キミ	横帳・1	
1	4-10	詠草 寛政十二庚申 享和元辛酉 同二年壬戌 文化三丙寅 同四 丁卯 同五 同六七八九		(文化9年)	1812		横半帳・1	竹廼屋印
1	4-11	(松陽俳句集)	添削朱書き有り			松陽	縦帳・1	鞍馬・和泉・奈良都八重桜を訪ね吉野山に行く
1	4-12	(松花堂主紀行文集)	鞍馬・和泉・奈良都八重桜を訪ね吉野山に行く紀行わすれめや野やまの花になれころもうろうへもなき友のなさけ字	寛永19年3月	1638	松花堂	縦帳・1	弘化3丙午閏5月上旬上村通年書之 破損の恐れあり
1	4-13	玉山あそびの記	紀行随筆力、添削朱書き有り、写本	明治29年10月	1896	たけのや宗敬	縦帳・1	
1	4-14	医害穴処記	魚際・列欠・商陽ほか人体各部名称の解説、図あり	—	—	—	横帳・1	
1	4-15	都扇蝶	扇遊びの点数、図解付、赤青着色	天保2年8月	1831	米村氏	小横帳・1 (縦)	
1	4-16	大成年代広記 全	「国之号 書目 書之卯 和漢歴史類雖有数本何及小紙略」とあり、神武～文化8年(以下は墨書入れ)の日本・唐土の歴代天皇・年号対照表	文化8年頃		須原屋市兵衛版	刷物・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-17	(五畿七道六十六ヶ国名称)	南胆部別大日本国正統図用明天皇御宇定五畿七道也文武天皇御宇六十六ヶ国也	天保5年7月	1834	米村光明	小横帳・1	天保五甲午年七月下旬写之／此主米村光明
1	4-18	論語徴	学而／酢 音左、俣 音忠ほか 難読字の書抜きか 二丁以下白紙	—	—	—	横帳・1	
1	4-19-1	瓜哇薯諭言(じゃがたらいもゆげん)	ジャガイモ栽培の心得力	明治21年8月	1888	出雲国仁多郡亀嵩村 若槻佐一郎著述	活字印刷物・1	
1	4-19-2	瓜哇薯諭言附録	瓜哇薯一反歩栽培并ニ澱粉製造損益明細表、ペン書き入れあり	明治22年5月25日	1889	出雲国松江市殿町第貳活版所 印刷者 小倉元	活字印刷物・1	
1	4-20	(各国道法一覽)	大阪より東国筋道法、同西国筋道法、江戸伊勢道中記、木曾道中記ほか里程一覽	—	—	—	小横帳・1	
1	4-21	京城勝覽略	○洛中洛外名所毎日見物之案内 ○序乃次に京町小路の由来をしるす ○洛中の名所古跡をしるす 京都案内記写本	宝永3年	1706	貝原篤信序	縦帳・1	天保八于有強圍支在作 丑十一月十五日略書写全口(虫損)／米邑光明
1	4-22	(祝詞)	表裏両面墨書、表側に「万代…」、内側に「物於登禊賜比清賜(モノヲハラヒタマヒキヨメタマヒ)…」	正徳3年12月	1713	内田全■写	状・1	
1	4-23	寿(藩札)	松江藩藩札「銀一匁」3枚	—	—	—	札・3	
1	4-24	本論	写本4丁分、本文漢文、一部文字修正あり、阿蘭陀医学書の紹介力、冒頭「本論／凡事之書新奇言之入譎性也目樂視之耳喜聽之口欠言之身願行之而…」とあり	—	—	—	縦帳・1	
1	4-25	五陽六陰置合曲尺図説	台子九段都合十段／秘事台子并緋和巾／竹筴赦之 五陽六陰の紙製曲尺11枚、説明書1枚	弘化3年1月	1846	息心庵竹筴	包・1	
1	4-26	押形よふのもの 七枚入	和紙に刀剣柄等の拓本7種、うち1枚は「島根県松江警察署」箋	—	—	—	包・1	
1	4-27	観音經	かな文字経文、冒頭「めうほうれんげきやくいんせをん…」	—	—	—	縦帳・1	
1	4-28	九字護身法	経文2枚入り、「護身法大事」および「九字之大事」	文政2年12月3日	1819	三輪万兵衛景光→米村新之丞	包・1	
1	4-29	神社祭祀令並祭式要領抜書	「勅令第十号 大正三年一月二十四日 官国弊社以下神社祭祀令」ほか関連条文抜書	大正3年	1914	—	縦帳・1	
1	4-30	御代理拝礼説明図	神社平面図に動線朱書				図・2	1-4-29と組か

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-31	照高山円流寺差出帳(謄本)	(原本)文政九戌年八月／御国目付御用之節属書出寺社役所二取置之／高木権平 堀彦衛門	昭和3年7月	1828	三谷勝之助	縦帳・1	此原本八年來米村信敬秘蔵ノモノナリシカ今回当社へ奉納セラレシニ付其謄本ヲ作り同氏ニ贈呈ス仍テ其由来ヲ証シ置クモノ也／昭和三年七月月次祭当日／県社松江神社々務所ニ於テ／三谷勝之助誌
1	4-32	御立山仮屋敷 稻荷大明神狐之由来(写)	御立山間稻荷大明神勧請之宿縁者明和元甲申年六月中旬…	嘉永5年8月	1852	平井伝兵衛	縦帳・1	万延元甲申水無月写之
1	4-33	御立山神社旧記書出帳／宝暦十四年申三月／神主 野津八百会	宝物目録	宝暦14年3月	1764	野津八百会、坪坂安右衛門校	縦帳・1	
1	4-34	壇香 普門院	木片(白檀力)5枚	—	—	—	包・1	
1	4-35	(風早実種筆書状、附・極)	内側に書状、裏面に仏影輪郭とこれに関する文久元年(1861)「半陰子誌」の文、および賀茂真淵ほか和歌料紙に連歌	—	—	風早実種→田中源五郎	書簡・1(封なし)、極札・1	
1	4-36-1	文政五年午正月 賦初何連歌	料紙に連歌	文政5年1月	1822	円龍	綴・1	(包紙)「御祈祷 連歌」
1	4-36-2	文政七年申正月 賦初何連歌	料紙に連歌	文政7年1月	1825	円龍	横帳・1	(包紙)「御祈祷 連歌」
1	4-37	入山符(写し)	避山川百鬼下精虎狼虫独 本書大如右以下細書(護符写し) 抱朴子曰上ノ五符皆老君入山符也…／凡人入山林及暫入皆可用之 右抱朴子	—	—	抱朴子	状・1	
1	4-38	(出雲国瑞光山清水寺境内図)	由緒あり、「出雲国瑞光山清水寺 本尊十一面観音毘首羯磨作 抑々当山ハ人皇三十四代推古天皇の勅願…」	天保10年	1839	—	刷物・1	(裏面注記)「天保十己亥四月十六日参詣求之 米邑」
1	4-39	准提尊秘法	准提菩薩拜礼作法 先不浄加持 合掌唱日 ナマサンダボダナンラン(梵字)…	文化9年	1812	—	状・1	文化九壬申年四月十一日 授与 米村方穀
1	4-40	文政六年五月 御祈祷御連歌 此主新介	料紙に連歌	文政6年5月	1823	新介	包・1	4-36と同じ料紙
1	4-41	酒徳解文章 一篇 桃生硯治郎作	□(虫損)鳳谷先生酒徳解 □酒不可以已乎北海唱之前先生和之後聞先生之凡者…／百川桃生盛 寛延三年五月廿六日 写之	寛延3年5月	1791	桃生硯治郎	包・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-42	広瀬 内藤官悟書	漢詩「東行八首 送山大夫赴東京… ／其一 八雲路／其二 四十曲／其 三 南浦／其四 浪花津／其五 琵琶 湖／其六 不二峯／其七 玉函山 ／其八 東京府／同浪華懷古」綴、 漢詩「晚登月山古城…」	—		内藤官悟	包・1(綴・ 1、状・1)	
1	4-43	山王大権現小田井大明神 両神に 五穀豊熟を禱文	惟天保七年歳丙申にやとる六月某日 但馬国豊岡の刺史従五位下朝敬大 夫京極甲斐守源朝臣高行謹で稔盛 清酌白銀そこばくを具へて…／右救 荒便覧後集上書抜	—		—	状・1	
1	4-44	春日銭真堅氏 倭歌	あまさかるひなにも花の… (添削朱 入)題詠ニテ上席ノ人アルトキハ同詠 ノ字ヲ加フ	—		桃好裕(節山)	状・1	
1	4-45	(好裕和歌)	父君の致仕し給ひて己に家を継ぐへ しとのおほせありける時父君によみ て奉る 名をもとけ功もなりぬ今より はつきゆき花にあそひまさなむ起つ へき道はしらねと家の風ふかせ継む とおもふはかりを	—		桃好裕(節山)	状・1	
1	4-46	夏日同詠杜五月雨 倭歌	さらてたにふかくこまれるもりの内は いととのふせしさみたれのそら	—		桃好裕(節山)	状・1	
1	4-47	(祝歌)	雲英引料紙に和歌、(前欠)いかてさ くらん 献寿吹来三盃露採花払尽首 間霜 君かよはあまのほむまれにき てたつともつきぬいはほ成へし	—		松原■谷	継紙・1	
1	4-48	(連句)	料紙に連句、阜角舎 淀旭 年越ん 山路の雪はかゝすとも／雪羽 待春 に鷹と一夜の頭巾哉／雪淀 国々 の宝や江戸の年の市	—		阜角舎 淀旭、雪羽	状・1	
1	4-49	(古希を迎えて発句)	…幾年のあそひや尽ぬ春心	—		—	状・1	
1	4-50	春草、雨泛湖上観梅	漢詩二篇、春草 待得東風起忽生春 草…／雨泛湖上観梅 層陰千里与 湖平小艇…	—		宇徳先草	状・1	
1	4-51	(漢詩)	(「克実」印)身是有大幸新正口作歎 待書家当富老穉病良安口幌清暉… ／庚午元旦作 秦信美拜(「信美」 印)(「木小克」印)	庚午(文化7年／明治 3年力)	1810/ 1870力	秦信美	状・1	
1	4-52	(漢詩)	(「静黙」印)秋老江楼麗気餘口天一 色日将科風順…／江楼秋晚／□岳 藤敦(「敦印」印)(印)	—		□岳藤敦	状・1	□=台?

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-53	(漢詩)	(印)二帝三王名欺我五侯七貴彼何人 西遊未覺九州夢回首歸來十一春 ／庚午歳大月詩曆／緘齋(「信」印) (「美」印)	庚午(文化7年／明治 3年力)	1810／ 1870力	緘齋信美	状・1	1-4-51と同筆
1	4-54	(和歌)	五月十六日を良日と定めて学館より 帰らせ給ふ事なりしも天気いとうらゝ かなりければ／守平／繼て来る本つ 家□□わたましの今にや八千代のは しめなるらむ	—		守平	状・1	1-4-45と関連力
1	4-55	(漢詩)	(印)松江府呈／松処士詞案下二首 ／朝筆…／寿運情況江水…／湛蓮 社／照阿稿(「寂闇之印」印)	—		湛蓮社／照阿	状・1	
1	4-56	(漢詩)	(「観景□□」印)春山無伴独相求 伐木丁々山更幽澗道…／丁巳初夏 禅社少陵詩 晚□(印)(印)	—		晚□	状・1	
1	4-57	(漢詩)	(印)文教休明日效珍磨墨川玉光堪 可…／右詠／守中後藤君所蔵天然 研云出々雲磨墨川也／辱知亨拜 (印)(印)	—		亨	状・1	
1	4-58	(漢詩)	濃濛湖色命舟船波浪春乎…／右雨 中湖上観梅愛／西山	—		西山	状・1	紙は湖上に船と柳の木版摺
1	4-59	(漢詩)	値 飛君義自京師歸 喜而□／曾被 婦期日望東／業成衣錦体丹楓／相 逢欲語口生棘／但聴三年京国風／ 桐江登拜(印)(印)	—		桐江登	状・1	
1	4-60	(漢詩四種)	①空色草堂夕、故人載酒来、隣□猶 未下、新歳入誰盃／右誠夜 ②…／ 右次遠藤贈／寺井韻／白川飛□盛 ③竹堂…／右抄雲州熊大夫兄枉駕 ④…右□□引／百川桃□盛	—		—	状・1	
1	4-61	(不昧関係二句書付)	①不昧君夜中御節之時不斗炭落て 己とよく出来ければ信親君を召し御 自慢之有ければ／炉の炭の己と落て 風情哉 ②極月末六日先師観月庵 の忌日終りなればとて…／松風の音 聞初て誰か忘ん	—		—	2枚	
1	4-62	(法隆寺古瓦拓本)	中央に拓本、左右に覚書あり／文字 図ヨリ肉太ク美事也／龍田石黒白色 交り	—		—	拓本・1	
1	4-63	(山の描法図力)	図のみ。直線で高さの異なる三角形 を3つ描き、それに肉付けするように 山を3つ描く。上部に小さい別紙貼付 (転写用か)	—		—	図・1	

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-64	(書拔)太平記卷十三龍馬進奏之事	「前略 或時主上馬場殿…」で始まる書拔。字拙、手習い用力	—	—	—	綴・1(半紙2枚)	
1	4-65	(和歌書付)	「古今集冬のうたに」として「浦口口てふりくる雪そ白浪の末の松山こすかとそ見る」の歌を記す	—	—	—	1枚	
1	4-66	(巖島絵馬鑑書拔)	「往年釈尊ヨリ穆王へ親授セラレタル法華経ノ四要品ノウチ深秘ノ文句ノウチヨリ…」とし、末尾に「右巖島絵馬鑑初編 諸録撮要 書拔ノ天台家声明」とあり	—	—	—	1枚	
1	4-67	(値札)	①「一金参円ノ信楽花入ノ大江」(「元札古志」朱印)、②「一金七円廿八銭口也ノ松竹梅染付筒茶碗」(「元札古志」朱印)	—	—	—	札・2	
1	4-68	(花鳥図案)	草花と小鳥(鶉力)の図案、稲妻状の枠線と「六」の数字あり	—	—	—	1枚	
1	4-69	(利息領収書)	「八百四拾文」の利息書付	—	—	—	3枚	
1	4-70	(広告摺物)	「根本請合ノ東京芝三島町ノ万打物錐鑪処ノ水瓜屋重兵衛」電話・口座番号付	—	—	—	2枚	
1	4-71	(摺物)義士四十七人墓画図	「播州赤穂台雲山花獄禅寺」の忠義塚、浅野内匠頭を中心に義士四十七人墓の図、天保十二丑春再刻	天保12年	1841	—	図・1	
1	4-72	服忌令図解	「服忌令図解」「遺跡相続分地配当之養子養実服忌差別之図」ほか全10図、「巳」を中心に高祖父母～玄孫、養子、異父兄弟姉妹等の状況別に服忌日数を図示	寛政6年12月	1794	土井主税源利往	図・1	
1	4-73-1	戸籍謄本		昭和28年10月12日	1953	松江市長・熊野英	綴・1	謄写版に補筆
1	4-73-2	戸籍抄本		昭和19年1月19日	1944	鳥取県米子市長・斎藤干城	罫紙・1	戸籍簿罫紙にペン書
1	4-73-3	戸籍抄本		昭和9-10年	1934-35	島根県松江市長・石倉俊寛	綴・1	戸籍簿罫紙にペン書
1	4-73-4	改葬願		昭和3年5月	1928	米村信敬→松江警察署長・中村喜代丸	綴・1	罫紙に墨書。朱入、訂正あり、控か下書力。
1	4-73-5	改葬願		大正2年5月12日	1913	米村信敬→兵庫県印南郡阿弥陀村・魚橋警察署長警部・杉隈徳太郎	綴・1	罫紙に墨書。朱入、訂正あり、控か下書力。
1	4-73-6	(新聞写真切抜)	(写真キャプション)「米村信敬氏油屋肩衝を背負ひたる処」、(赤ペン書入れ)「八雲日記の拝口」	昭和5年5月15日カ	1930	(送り主)瀧川壽一郎→米村信敬	切抜・1	(包紙表に墨書)米邨信敬様、(同内側)昭和五年五月十五日到来ノ瀧川壽一郎 名正勝字齋生龍山ト号ス

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
1	4-73-7	副相今村大夫淑人有澤氏墓碣	「淑人諱多楚雲藩故執政有澤大夫諱□(カズ)通之季女也…」で始まる墓碑文案、末尾に「凡三百三十余言」とあり。淑人は安永7年没、墓所は恩教寺。	(安永7年以降)	(1778以降)	—	1枚	訂正、朱点あり。
1	4-73-8	謝状	賛助金20円志納に対する感謝状	昭和22年7月23日	1947	華道家元清話会長・池坊専永→米村きみ	賞状・1	

了

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
2	1	大橋川より下川絵図面貳枚之内 言					1枚	米村氏家蔵の記載
2	2	藩邸絵図					1枚	
2	3	(斐伊川川図)					1枚	木次村大土手、久野川土手、東 日登村新土手
2	4	(大坂冬の陣東西配置図)					1枚	
2	5	(島前島絵図)					1枚	船路の距離記載、神社仏閣名記 載、名物記載
2	6	(稲荷大明神祭礼の状況図)					1枚	(大坂力)白子町の記載あり
2	7	大坂御蔵屋舗地図					1枚	米村氏の記載
2	8	(屋敷図(表のみ))					1枚	(江戸力)
2	9	天保十一子年開帳道案内図			1840	塩谷喜兵衛株元、塩谷弥 七書林	1枚	京都から大阪間の図
2	10	天保六歳在乙未春洗版訂正 大 清広輿図 礼記王制図 歴代事 跡図 唐土歴代沿革図 閩史約 新改正撰津国名所旧跡細見大 絵図			1835	京屋浅二郎	折本・1	破損
2	11			天保7年3月	1836	大坂書林	畳図・1	虫損
2	12	河内大阪近在本しらべ大洪水之 図		明治18年7月6日	1885	石川万助編集兼出版	1枚	
2	13	明治改正大日本明細全図		明治19年4月27日	1886	樺井達之輔編集、中邨朝 吉出版、河合文港堂発売	1枚	東京・京都・大阪略図、各地名所 旧跡神社仏閣図有
2	14	■光御山之絵図	日光の観光絵図か			御絵図所植山弥平	1枚	破損
2	15	奥州監竈松島全図				仙台竹亭	1枚	
2	16	最新松江市全図		昭和23年5月10日 発行	1948	松江観光協会編纂、松江 今井書店発行	折りたたみ 図・2枚	同じものが2枚有。1枚に米村の 鉛筆書き有。
2	17	島根県地図	山陰新聞創刊四十週年 記念	大正10年9月23日	1921	山陰新聞社	折りたたみ 図・1枚	松江市・今市町・杵築町村図有。 裏面に商店・病院などの広告有
2	18	奉天附近之会戦日露両軍之配 置		3月15日夜		東京印刷株式会社印行	1枚	虫損

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
2	19	日本交通分県地図 東宮御成婚 記念	「其五」三重県、「其六」 石川県、「其七」長崎県、 「其八」徳島県、「其十 一」愛知県、「其二十九」 佐賀県	大正13年～大正15 年	1924～ 1926	大阪毎日新聞	7枚	「其十一」愛知県は同じものが2 枚有
2	20	列強大戦争地図		大正3年8月21日	1914	大阪毎日新聞	1枚	
2	21	東洋戦局地図		大正3年9月20日	1914	山陰日日新聞	1枚	裏面にクラブ洗粉歯磨の広告 有。
2	22	実地踏測番地入 東京市街全図		大正13年1月10日	1924	東京書林	1枚	「実地踏測東京市街全図精良無 比 電鉄線路停留場詳密 大正 大震災区域明細番地入 安政大 地震江戸明細図横浜市街地図」 の封筒に入っている
2	23	名古屋市街全図		大正7年1月10日	1918	服部商店	1枚	
2	24	京城府明細図		大正7年4月10日	1918	日韓書房蔵版	1枚	
2	25	日光山両社真図		明治33年2月	1900	市村伊三郎	1枚	
2	26	実地測量 東京新地図		明治43年1月5日	1910	春江堂	1枚	
2	27	国立公園 大阿蘇山	書簡図絵	昭和7年3月15日発行	1932	浜田書画堂発行	畳図・1	
2	28	日光名所図絵				日光物産商会	畳図・1	
2	29	日光山両社全図					1枚	袋入

了

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	1-1	韻府一隅 仄聲之部	文政十一年序文 卷一～卷二	文政11年	1828	吳趨顔懋功麓莊輯 乾齋中井先生刊校 浪速書林羣玉堂 東都書林 青雲堂梓	和本・1	袋綴。(題箋)「韻府一隅 []」
3	1-2	韻府一隅	嘉慶八年吳趨麓莊顔懋功識 卷一～卷八	文化10年晩春翻刻 文化10年3月刻成	1813	吳趨顔懋功麓莊 朱翠峯 華安愚同輯 永口堂蔵板	和本・1	袋綴。(奥付)「韻府一隅仄之部 掌中韻府一隅 嗣刻」(3-1-1と同じ本だが版元が異なる)
3	2-1	(題箋)竹外二十八字詩 上	序嘉永甲寅 森田益撰 藤井啓士開著 友人江馬聖欽正人校	明治11年12月	1878	西湖堂蔵	和本・1	
3	2-2	(題箋)竹外二十八字詩 下	藤井啓士開著 友人江馬聖欽正人校 跋文甲寅晩秋	明治11年12月	1878	翻刻人 滋賀県平民 鳥居兵吉	和本・1	(朱印)「和漢洋書翻訳書類稲吉吉蔵島根県松江天神町」の印あり
3	3-1	茶道早学初篇卷之上	明治十六年九月序文・目次茶の濫觴之事○茶人の略系図○茶会之部○点茶式之解釈○炭手前之図式○風炉置付定則○風炉手前之略解○大板小板敷瓦丸板長板之弁解○小座敷之部	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	3-2	茶道早学初篇卷之下	目次なし。	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	3-3	茶道早学二篇卷之上	明治十六年菊池序 石津序 品目 ○棚物之部○棚物之釈解○懸物之部○眞壺之部○香炉之部○床飾之品類○書院荘之具	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	3-4	茶道早学二篇卷之下	目次 ○釜鑄造人之略伝○釜之形名略図解○釜附属品種概略○炭斗之部 附属品 ○炭之事○焙烙之部○風炉之部・風炉之灰之事・風炉製造人之事・風炉之解釈○炉縁之部○香盒之部	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	3-5	茶道早学三篇卷之上	明治十七年五月自撰 目次○香盒和物類○全一閑張物之類○全木地物之事○一閑之略解○薫物之部○花入之部○敷板之事并花具付属品○水注之部○杓立之部○蓋置之部○茶入之部前記	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	3-6	茶道早学三篇卷之下	○茶の湯の豫則	明治17年6月出版	1884	狩野宗朴著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	4-1	梧桐詩話 上冊	漢詩			蓀坡先生著 詩佛先生閱	和本・1	綴紐外れ
3	4-2	梧桐詩話 下冊	漢詩			蓀坡林瑜孚尹 著	和本・1	
3	5-1	標記増補 十八史略 一	太古～周代	明治3年春5刷	1870	大夫巖垣龍溪先生標記 孫音博士東園先生再校増補 皇都 五車楼・松柏堂梓	和本・1	
3	5-2	標記増補 十八史略 三	東漢～西晋	明治3年	1870	立齋先生標題解註音釈	和本・1	鉛筆で「岡山市磨屋町菱川方」
3	5-3	標記増補 十八史略 四	東晋～隋	明治3年	1870	立齋先生標題解註音釈	和本・1	
3	6	今川義元織田信長 桶狭間合戦縁記	永祿3年桶狭間合戦のあらましを記載している				和本・1	木版刷。尾州有松あづまや八蔵板
3	7-1	王注老子道德経 上	刻老子王註序 明和巳丑冬十月 老子道德真経卷一	明和7年5月	1770	南総宇恵撰	和本・1	綴紐外れ

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	7-2	王注老子道德経 下	38章～81章 旧跋	明和7年5月	1770	南総宇恵 東都書林 須原屋茂兵衛・ 松本善兵衛・須原屋平助	和本・1	
3	8	(茶中)	25頁～52頁(始の部分が欠)			新屋伝右衛門	和本・1	綴紐外れ。題箋は擦れて読めず。 「竹廻屋印」の印あり。裏表紙に 「新屋伝右衛門」
3	9-1	本朝画家人名辞書 上	明治26年 小中村清矩題歌 黒 川真頼序文	明治44年11月17日26 版印刷発行	1911	狩野壽信編纂 古筆了悦校 関 大蔵書店蔵版	和本・1	
3	9-2	本朝画家人名辞書 下		明治44年11月17日26 版印刷発行	1911	狩野壽信編纂 古筆了悦校 関 大蔵書店蔵版	和本・1	
3	10	(武鑑)		安政4年	1857	御書物師 出雲守萬次郎蔵 版	和本・1	題箋剥がれ
3	11	日本中古武家沿革図考 全	地図と各時代の略歴を記す 鎌 倉英雄鑑 国高改 足利勇士鑑				和本・1	裏表紙欠、破損大。木版。
3	12	廣益諸家人名録(本文)「江戸現 在廣益諸家人名録」	天保六年序。	天保6年	1835		和本・1	題箋なし、朱で書名を記す。
3	13-1	鑑定秘訣 美術類集 巻之上		明治28年11月16日発 行	1895	中島信義著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	13-2	鑑定秘訣 美術類集 巻之下		明治28年11月16日発 行	1895	中島信義著	和本・1	表紙を被せ題箋が読めない
3	14-1	虚字解 上		天明3年孟春	1783	周防岩国 飯田肅 皇都書 林 菱屋孫兵衛	和本・1	
3	14-2	虚字解 下		天明3年孟春	1783	周防岩国 飯田肅 皇都書 林 菱屋孫兵衛	和本・1	
3	15-1	続虚字解 上		寛政4年9月	1792	平安 皆川淇園 皇都書林 菱屋孫兵衛	和本・1	綴糸切れ
3	15-2	続虚字解 下		寛政4年9月	1792	平安 皆川淇園 皇都書林 菱屋孫兵衛	和本・1	
3	16	廣求大成 和漢書画集覧 全	廣覚道人識	弘化紀元季冬		東都書肆	小横本・1	
3	17	摺印補正	寛政十一年序文 万治年中に刊 する和漢印画を集める	寛政11年力	1799		小横本・1	題箋擦れのため読めず。表紙・裏 紙破損
3	18	増補改正 和漢主歴箋	文政12年までの年表。手書で嘉 永元年まで補筆。日本・清の地図	文政9年	1826	東都書坊 千鐘房叢 須原 屋茂兵衛	折本・1	表紙欠
3	19	増補掌中唐宋詩学類苑大成		慶応3年5月	1867	華洛桂淡水識 三都書肆	折本・1	表紙・裏表紙欠損。題箋欠。虫損 あり。
3	20	(難波巡覧記)	序言 年中参詣記(10月まで)				小横本・1	表紙・裏表紙欠損。綴紐は仮綴。
3	21-1	詩誤金聲 上	詩学の換字を用いるため携帯書	嘉永3年新刻 明治4年再刻	1871	筑前 藤良国輯 三木玉淵 堂製	小横本・1	
3	21-2	詩誤金聲 下	詩学の換字を用いるため携帯書	嘉永3年新刻 明治4年再刻	1871	筑前 藤良国輯 三木玉淵 堂製	小横本・1	
3	22-1	山中人饒舌 上		嘉永7年4月原版 明治12年3月4日翻刻	1879	竹田生著 小竹散人評	小本・1	虫損あり。(朱印)「中島口図書印」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	22-2	山中人饒舌 下		嘉永7年4月原版 明治12年3月4日翻刻	1879	竹田生著 小竹散人評	小本・1	虫損あり。(朱印)「中島口図書印」
3	23-1	詩礎玉振 上	春部～夏部	嘉永3年新刻 明治4年再刻	1871	筑前 藤良国輯 三木玉淵 堂製	小横本・1	
3	23-2	詩礎玉振 下	秋部～雑部	嘉永3年新刻 明治4年再刻	1871	筑前 藤良国輯 三木玉淵 堂製	小横本・1	
3	24-1	年々改正雲上明覽大全 上	禁裏御所・准后御方・後院御所・ 御官方・親王方・御門跡方・御比 丘尼御所・	天保8年刻 万延元年	1837 1860	江戸日本橋通山城屋佐兵 衛、大阪心斎橋筋河内屋喜 兵衛、尾州名古屋永楽屋東 四郎、京都六角通平野屋茂 兵衛、同三条通竹原好兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	24-2	年々改正雲上明覽大全 下	御撰家、御家族方。大臣家、閑院 家、花山院家、中御門家、御子左 家、日野家、勸修寺家、四條家、 水無瀬家、高倉家、村上源家、宇 田源家、花山源家、清和源家、管 家、平家、清家、安倍家、大中臣 家、卜部家、丹波家	天保8年刻 万延元年	1837 1860	江戸日本橋通山城屋佐兵 衛、大阪心斎橋筋河内屋喜 兵衛、尾州名古屋永楽屋東 四郎、京都六角通平野屋茂 兵衛、同三条通竹原好兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	24-3	文久新刻御三家御附 全	尾張様附成瀬・竹腰、紀州様附 安藤・水野、水戸様附中山	文久元年正月	1861	江戸日本橋須原屋茂兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	24-4	新板改正文久武鑑 御大名衆 卷 之一		文久元年	1861	江戸日本橋通千鍾房須原 屋茂兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	24-5	新板改正文久武鑑 御大名衆 卷 之一		文久元年	1861	江戸日本橋通千鍾房須原 屋茂兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	24-6	新板改正文久武鑑 御大名衆 卷 之一		文久元年	1861	江戸日本橋通千鍾房須原 屋茂兵衛	和本・1	(紙秩)「雲上明覽 万延元年庚申 改 二冊 文久武鑑 五冊」
3	25	標記唐宋聯珠詩格 全		明治2年4月	1869	小石碌郎編 出雲寺松栢堂	小本・1	
3	26-1～6	譯筌初編 翻刻必究 譯文筌蹄 書編1～6		正徳5年1月	1715	荻生徂徠 洛東知恩院門前 澤田吉左衛門	和本・6	
3	27-1	装剣奇賞序 例言 卷之一	序列 総論 襍述	天明元年	1781	春禽稻葉通龍著	和本・1	
3	27-2	装剣奇賞卷之二	諸工系譜 後藤家並同苗諸工	天明元年	1781	春禽稻葉通龍著	和本・1	
3	27-3	装剣奇賞卷之三	諸工名譜其一	天明元年	1781	春禽稻葉通龍著	和本・1	
3	27-4	装剣奇賞卷之四	諸工名譜其二	天明元年	1781	春禽稻葉通龍著	和本・1	
3	27-5	装剣奇賞卷之五		天明元年	1781	春禽稻葉通龍著	和本・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	27-6	装剣奇賞巻之六	附録 唐革類図抄 印籠師名譜 並図	天明元年	1781	春禽稲葉通龍著	和本・1	
3	27-7	装剣奇賞巻之七	附録 根付師名譜並図 諸卜玉 石類	天明元年	1781	春禽稲葉通龍著	和本・1	
3	28-1	慶長以来 新刀弁疑序 凡例 目 録 卷之一		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-2	慶長以来 新刀弁疑巻之二		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-3	慶長以来 新刀弁疑巻之三		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-4	慶長以来 新刀弁疑巻之四		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-5	慶長以来 新刀弁疑巻之五		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-6	慶長以来 新刀弁疑巻之六		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-7	慶長以来 新刀弁疑巻之七		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-8	慶長以来 新刀弁疑巻之八		安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	28-9	慶長以来 新刀弁疑巻之九 索引	追加	安永8年6月	1779	鎌田三郎太夫著	和本・1	
3	29-1	古刀銘尽大全巻之一	初心目利手引 焼刃部類分 忠 鉦見分 名剣吉剣之論	寛政4年1月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-2	古刀銘尽大全巻之二	鍛冶系図 東国之部	寛政4年2月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-3	古刀銘尽大全巻之三	鍛冶系図 西国之部	寛政4年3月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-4	古刀銘尽大全巻之四	番鍛冶 同銘寄 作上中下 古代 名物之剣	寛政4年4月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-5	古刀銘尽大全巻之五	刀剣見様之事	寛政4年5月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-6	古刀銘尽大全巻之六	刀剣見様之事	寛政4年6月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-7	古刀銘尽大全巻之七	焼刃忠押形並彫物	寛政4年7月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	29-8	古刀銘尽大全巻之八	中心銘押形 東国之部	寛政4年8月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	29-9	古刀銘尽大全巻之九	中心銘押形 西国之物	寛政4年9月	1792	仰木伊織菅原弘邦著	和本・1	
3	30-1	再来 田舎一休 一	一休再生並蜺江新六開悟 衆僧 法問 浄土法華之宗論並二休判	享保13年	1728	儒釈	和本・1	
3	30-2	再来 田舎一休 二	儒仏一致別讚並氣随我任 あや つりの起 自性之間	享保13年	1728		和本・1	
3	30-3	再来 田舎一休 三	一念弥陀仏即滅 見性成仏 悟 悪心情欲 三世之弁	享保13年	1728		和本・1	
3	30-4	再来 田舎一休 四	因果業報之弁 念仏題目之主意 六祖之行由並達磨之終 主意	享保13年	1728		和本・1	
3	31-1	田舎荘子 大意 巻上	雀蝶変化 木兔自得 巖蛇疑問 鷓鴣論道 鶻鷄得失 鷺鳥巧拙	享保12年	1727	佚齋儒山先生選	和本・1	
3	31-2	田舎荘子 巻中	菜爪夢魂 臺之神童 古寺幽靈 蟬蛻至楽 貧神夢会	享保12年	1727		和本・1	
3	31-3	田舎荘子 巻下	莊右衛門が伝 猫之妙術 荘子 大意	享保12年	1727		和本・1	
3	31-4	田舎荘子 巻附録	聖廟参詣 鳩之發明			三都会書林	和本・1	
3	32	都名所図会巻之六					和本・1	
3	33-1	春草堂詩鈔 巻一 二		嘉永4年5月	1851	安芸 頼惟柔千祺著	和本・1	
3	33-2	春草堂詩鈔 巻三 四		嘉永4年5月	1851		和本・1	
3	33-3	春草堂詩鈔 巻五 六		嘉永4年5月	1851		和本・1	
3	33-4	春草堂詩鈔 巻七 八		嘉永4年5月	1851		和本・1	
3	34-1	新刀銘集録 巻之一 二		安政4年3月	1857	森岡朝尊著	和本・1	
3	34-2	新刀銘集録 巻之三 四		安政4年3月	1857	森岡朝尊著	和本・1	
3	34-3	新刀銘集録 巻之五 六		安政4年3月	1857	森岡朝尊著	和本・1	
3	34-4	新刀銘集録 巻之七 八		安政4年3月	1857	森岡朝尊著	和本・1	
3	34-5	新刀銘集録 巻之九		安政4年3月	1857	森岡朝尊著	和本・1	
3	35-1	画本手鏡(妙画品類)初巻	牧溪 米元章 王若水 楊補之 王摩詰 趙千里	享保5年	1520	法橋春卜藤原愛董纂	和本・1	
3	35-2	画本手鏡(妙画品類)三巻	兆殿主 鳥羽僧正 土佐家 一休 周文 宗丹 雪舟	享保5年	1520	法橋春卜藤原愛董纂	和本・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	35-3	画本手鏡(妙画品類)四卷	古法眼 啓書記 永徳 相阿弥 秋月 雪村 周耕 道安	享保5年	1520	法橋春卜藤原愛董纂	和本・1	
3	35-4	画本手鏡(妙画品類)五卷	雅楽助 友松 長谷川 瀧本坊 雲谷 山楽 探幽 永真 尚信 雪信 常信	享保5年	1520	法橋春卜藤原愛董纂	和本・1	
3	36	古刀銘集録 全		文政11年7月	1828	田中清房識	和本・1	
3	37-1	近古史談 卷之一 二		明治28年2月	1895	磐溪大槻先生著	和本・1	
3	37-2	近古史談 卷之三 四		明治28年3月	1895	磐溪大槻先生著	和本・1	
3	38	立齋先生標題解註釈文十八史略 卷之二				後学 臨川陳殷音釈	和本・1	
3	39-1	山陽文稿卷之上		明治3年	1870	求石書堂発販	和本・1	
3	39-2	山陽文稿卷之下		明治3年	1870	求石書堂発販	和本・1	
3	40-1	謫居詩存 卷上				東湖藤田先生著	和本・1	
3	40-2	謫居詩存 卷下					和本・1	
3	41-1	四季雑香銘集 天					和本・1	
3	41-2	四季雑香銘集 地	内十組聞香 全				和本・1	
3	42-1	竹外二十八字詩 後編卷上		明治4年12月	1871	摂津 藤井啓士開著	和本・1	
3	42-2	竹外二十八字詩 後編卷上		明治4年12月	1871	摂津 藤井啓士開著	和本・1	
3	43-1	漢溪書法通解 卷一 二				漢溪才守智達夫纂著	和本・1	
3	43-2	漢溪書法通解 卷五 六				漢溪才守智達夫纂著	和本・1	
3	43-3	漢溪書法通解 卷七 八				漢溪才守智達夫纂著	和本・1	
3	44	超海集				東京 鱸元邦彦之甫著	和本・1	
3	45-1	細川茶湯之書 中		寛永18年極月吉日写 之	1641		和本・1	「竹廼屋印」あり

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	45-2	細川茶湯之書 下					和本・1	「竹廼屋印」あり
3	46-1	藪中流茶道問目録 天					和本・1	書写本
3	46-2	藪中流茶道問目録 地					和本・1	書写本
3	47	鬼一法眼三略巻				作者 文耕堂長谷川千四	和本・1	
3	48-1	稽徳編 卷之四					和本・1	書写本
3	48-2	稽徳編 卷之七					和本・1	書写本
3	48-3	稽徳編 卷之十五					和本・1	書写本
3	48-4	稽徳編 卷之十六					和本・1	書写本
3	48-5	稽徳編 卷之十七					和本・1	書写本
3	48-6	稽徳編 卷之十八					和本・1	書写本
3	48-7	稽徳編 卷之十九					和本・1	書写本
3	48-8	稽徳編 卷之二十六 二十七 二十八					和本・1	書写本
3	48-9	稽徳編 卷之二十九 三十大尾					和本・1	書写本
3	49	藤原秀郷係系図				作者 並木宗口安田蛙文	和本・1	
3	50	まま子だての算					和本・1	
3	51	はなのしをり		明治28年7月	1895	たけのや宗敬	和本・1	「竹廼屋印」あり
3	52	武門要鑑抄	国政傳 国家鎮護段他軍法大本。要鑑抄二十写	永禄11年8月15日～ 延享4年2月5日	1568	上杉官領入道不識院謙信 輝虎朝臣・加治・澤崎・佐久間・宮田十郎左衛門景興	秩入和綴帖・1	中の切紙に「七月廿四日 御出座重而御家訓ヨリ」
3	53	貞丈随筆 目録(虫損)	貞丈随筆惣目録 いろは部分(い～す)				和本・1	(朱印)「竹廼屋印」・「望月家蔵」
3	54	大学	校点 四書	文久2年壬戌新鐫	1862	浪華書肆 窓旭堂・文会堂 合梓	和本・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	55-1	徂徠先生学則并附録標注 上	竹溪・南昌二先生同校			竹溪・南昌二先生同校 翻刻必究。藍田東先生再校并標注	和本・1	(朱藏書印)「神谷氏家藏」 「朝野新聞第千六百四拾号附録 明治十二年三月一日」と記した紙 を挟む。
3	55-2	徂徠先生学則并附録標注 下		天明紀元辛丑12月	1781	慧海上人損貸刊・藍田先生 標注 越中口正則書写董役	和本・1	
3	56	徂徠先生学則国字解 全	学則解読手引書	安永9年夏6月日	1780	熊井清庸撰	和本・1	
3	57-1	貞丈雜記 一	礼法類・祝儀類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」 所々二所有者二依墨書・朱書有。
3	57-2	貞丈雜記 二	人品類・人物類・人名類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-3	貞丈雜記 三	小袖類・烏帽子類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-4	貞丈雜記 四	役名類・官位類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-5	貞丈雜記 五	装束類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-6	貞丈雜記 六	飲食類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-7	貞丈雜記 七	膳部類・酒盃類・輿類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-8	貞丈雜記 八	調度類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-9	貞丈雜記 九	書礼類・進物類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-10	貞丈雜記 十	弓矢類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-11	貞丈雜記 十一	武具類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-12	貞丈雜記 十二	刀劔類・武芸類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-13	貞丈雜記 十三	馬類・馬具類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-14	貞丈雜記 十四	家作類・座敷飾類・紙類・皮類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」
3	57-15	貞丈雜記 十五	鳥目類・鷹類・物数類・言語類			伊勢平藏貞丈記	和本・1	(朱印)「竹迺屋印」・「望月家藏」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	57-16	貞丈雑記 十六終	神仏類・緒結類・凶事類・雑事類・書籍類	文化9年11月3日	1812	伊勢平蔵貞丈記 伊勢万助貞春	和本・1	(朱印)「竹廼屋印」・「望月家蔵」
3	58-1	文久新刻 論語 校点 二(一)	論語序説～卷之二 朱熹集注				和本・1	綴糸切れ。表紙に墨書「谷久之助」
3	58-2	文久新刻 論語 校点 二	論語卷之三～卷之五 朱熹集注				和本・1	綴糸切。(朱印)「米村」カ
3	58-3	文久新刻 論語 校点 三	論語卷之六・卷之七 朱熹集注				和本・1	綴糸切。(朱印)「米村」カ
3	58-4	文久新刻 論語 校点 四	論語卷之八～卷之十 朱熹集注				和本・1	綴糸切。(朱印)「米村」カ
3	59-1	唐詩選 (以下題箋文字不明)	序～卷之二 南郭先生考訂 李于鱗唐詩選			江戸書肆 高山房梓行	和本・1	
3	59-2	唐詩選 自三至五 五言律排律七言律	唐詩選卷之三～卷之五				和本・1	
3	59-3	□□(唐詩力)選 自 五(他不明)	唐詩選卷之六・卷之七			江戸書肆 高山房 小川新兵衛梓行	和本・1	
3	60-1	清十家絶句 上	清の十人の漢詩集。銭牧斎・呉梅村・王漁洋・朱竹垞・查初白・黄莘田・王夢楼・□簡斎・蔣蔵園・趙□北	嘉永壬子新鐫	1852	枕山大沼先生閑撰・楽山服部知孝編校輯 萬青堂版	和本・1	裏見開に「島田村倉鋪春山 於松江骨董鋪書求之」
3	60-2	清十家絶句 下		嘉永6年2月	1853	服部新重郎編輯 東京書林	和本・1	綴糸切。
3	61	増注補訂 続文章規範 四之五	増纂評注文章規範続編卷之四 運字集 五 自字集				和本・1	朱蔵書印あり。
3	62	文政新刻 古文前集	諸儒注解古文真寶前集目錄・卷上・卷下	嘉永元年戊申初春	1848	皇都書林律逮堂 吉野屋仁兵衛板	和本・1	
3	63-1	李詩絶句 上	李太白絶句卷上				和本・1	内部虫損
3	63-2	李詩絶句 下	李太白絶句卷下				和本・1	
3	64	(鑑一江戸時代の百科事典)					和本・1	前後剥落。汚れ大。
3	65	近世遺墨 鹽田友親編輯 下	頼山陽・頼鴨匡他遺墨集	明治12年1月11日	1879	広島県士族 塩田友親編輯 東京府平民 江島喜兵衛出版	和本・1	
3	66	修徳園叢書 松平直亮纂輯 第志集	直亮公菴集の賢哲警箴集 徳川家康公箴言・貝原益軒自警編・熊澤了介翁君子小人の解。	明治26年晩春	1893	松平直亮纂輯 修徳園蔵版	和本・1	薄様カバー付

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	67	訓点 唐宋八大家文読本 塚原苔園訓点十二	卷之十九・二十	明治11年12月13日御届、明治13年3月出	1880	静岡県士族 塚原苔園	和本・1	
3	68-1	題箋解読不能(韻府一隅) 卷三～卷六	漢字の熟語を韻事によって分類配列し用例となる語を集めたも			吳趨顔懋功麓莊輯	和本・1	朱蔵書印あり
3	68-2	韻府一隅 (他不読) 卷七・八		文政戊子夏日 (文政11年)	1828	乾齋中井豊民題 門人金子鼎書	和本・1	
3	69	才子必携 文語活法 小川棟宇編輯 全	近来世間専行ノ新聞體ノ奇字綺語ヲ綴り古今ノ名文ヲ作例シタル書	明治11年6月出版	1880	大阪平民小川棟宇編輯 大阪平民俵新輔発兌	和本・1	
3	70	回天詩史 全	戊辰戦争顛末	慶応4年戊辰仲夏	1868	水戸藤山彪口卿題并録	和本・1	跋文「安政丙辰五月 晩生 原忠敬」
3	71	廣益諸家人名録二編				掃葉三房発兌	和本・1	「神谷氏家蔵」の朱印あり
3	72	読史訓蒙初篇 日本政記抄解 全	神武天皇から後陽成天皇迄抄解	明治6年11月	1873	松岡蘆邨著	和本・1	
3	73	亦奇録 上	東北・東海各地の紀行文・漢詩集	丙寅晩夏		鐵心小原寛栗卿	和本・1	跋文「枕山生大沼厚敬識」
3	74-1	反刻 山陽詩鈔 頼久太郎著 一	頼山陽漢詩集 卷之一・二				和本・1	「天保三年壬辰冬十月 友人篠崎弼撰并書」
3	74-2	反刻 山陽詩鈔 頼久太郎著 三	頼山陽漢詩集 卷之五・六				和本・1	
3	74-3	反刻 山陽詩鈔 頼久太郎著 四	頼山陽漢詩集 卷之七・八	明治11年10月7日反刻届・同12年出版	1879	著者頼久太郎	和本・1	
3	75	新板改正 文久武鑑 西御丸附 卷之四					和本・1	
3	76	新鮮正字通 岩崎茂実 全	漢字辞書	明治11年5月23日	1878	岩崎茂実編輯	和本・1	
3	77-1	俳諧あすならふ上 内題 雅言俗語翠檜卷本 上	俳諧の初学の人のため諸国地名・人名などを纏めた本	文化11年正月発行	1814	武江 法橋吾山越谷秀真 著、不二亭井来義、春雷堂 建朱映校定、東原子田未央	小和本・1	部分虫損。(包紙)「群玉亭蔵」
3	77-2	俳諧 あすならふ下 内題 雅言俗語翠檜卷下		文化11年甲戌正月発行	1814	難華書林 心齋橋通唐物町 河内屋太助	小和本・1	
3	78	和漢墨蹟目録	和漢墨蹟、本朝古今名筆諸後学能書目録、和漢名物茶入肩衝目録、古今名物茶奥秘蔵記、和漢茶入名物記、古今和漢諸道具具知抄を冊子	元禄7年孟春	1694		横半帳・1	貼紙の題名すれて読めず「万[]」

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	79	本朝 新刀一覽全	文政2年本阿弥市郎左衛門序、凡例文政4年8月 平安 今村幸政 跋文天保9年2月	弘化2年10月	1845	江戸日本橋通一丁目須原屋茂兵衛、同浅草第町二丁目須原屋伊八、同日本橋通二丁目山城屋佐兵衛、同芝神明前岡田屋嘉七、大坂心齋橋安堂寺町秋田屋太右衛門、京都寺町通松原下ル町勝村治右衛門、同寺町通綾小路下ル町 近江屋佐太郎	横半帳・1	米原迂夫蔵 「嘉永七甲寅閏七月於大坂求之山口和太」
3	80	摺印補遺	文化庚午二月 石隠老人序文	文化7年庚午5月	1810	京都寺町通五条上ル天王寺屋市郎兵衛、東都下谷池之端仲町 須原屋伊八、難華 柏原屋清右衛門、同北久太郎町 河内屋喜兵衛	横半帳・1	
3	81	鍛冶銘早見出 内題 校正古今鍛冶銘早見出上		嘉永2年	1849	尾関善兵衛永富撰 日本橋通壺丁目 須原屋茂兵衛	横半帳・1	貼題なし
3	82	押印補正卷之一		享和2年3月初刻 天保5年3月再刻	1802	難華書肆 心齋橋筋順慶町 柏原屋清右衛門、同北久太郎町 河内屋喜兵衛	横半帳・1	貼紙の題名すれて読めず「[]下」
3	83	金工鐔寄 全		天保10年	1839	一賀齋田中忠八郎	横半帳・1	
3	84	御法名附	10代将軍までの法名 宗口まで 法名・位牌所				横半帳・1	紙縫綴
3	85	江都 金工名譜	野田敬明編輯	文化7年秋8月	1810	神田明神下金沢町 野田四郎兵衛蔵板 瀬戸物町 須原屋善五郎 神田鍛冶町北島長四郎	折本・1	
3	86-1	不昧公印譜	不昧公の印譜を収録し、桑原羊次郎の序文・解説を付す	大正6年10月20日発行	1917	著者桑原羊次郎、発行者秦慶之助 印刷所松陽新報社、発売所書肆文明堂	折本・1	
3	86-2	机飾り(文飾り図)	文机の文具飾りの室礼を記した綴り(机飾り文ノカサリ九ツ、行七ツ、菓五ツ)				横帳・1	3-86-1に挟み込み

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
3	87	新刀銘盡大成 全	新刀の図鑑	弘化2年初秋	1845	江戸日本橋吉丁目須原屋茂兵衛、同二丁目山城屋佐兵衛、同芝神明前岡田屋嘉七、大坂心齋橋通備後町近江屋平助、同心齋橋通唐物町河内屋太助、同心齋橋通北久宝寺町河内屋源七郎、同河内屋徳兵衛、同心齋橋通南久宝寺町伊丹屋善兵衛	横本・1	
3	88	雲智明集	刀剣の波紋、刀工の系図などを百科事典的に纏めている	弘化3年	1846	巨横園蔵 江戸日本橋吉丁目須原屋茂兵衛、同通四丁目金花堂 須原屋佐助	横本・1	題箋なし、墨書で書名を記す。表紙裏の題名も同じ。
3	89	古刀新刀銘集一覧 全	序文文政十一年田中清房撰、古刀銘集 刀剣銘について一覧している	天保9年	1838	薩摩 難口居士 五代秀堯撰、江戸 江戸日本橋一丁目須原屋茂兵衛、芝神明前岡田屋嘉七、神田本銀町三丁目永楽屋東四郎、大阪心齋橋北久太良町河内屋喜兵衛、京都 寺町通松原下ル 勝村治右衛門、三条通富小路上ル 口屋勘兵衛、高倉通三条上ル二丁目大文字屋与三兵衛	横本・1	
3	90	古刀鍛冶銘盡 再刻 全	古刀の鍛冶銘を印刻している	弘化戊申稿成、慶応再刻	1848	東都書肆 内野屋弥平治蔵版	横本・1	
3	91	(刀剣銘拓本)	刀剣銘の拓本と寸法を記す				縦帳・1	書名なし。奥書、人名なし
3	92-1	系譜 二	(封筒のみ)				封筒・1	軸の木片を含む
3	92-2	狩野探幽筆縮図	(表紙として使用された力)				状・1	表紙部分か
3	92-3	(絵画写真)	三枚の絵画写真				状・1	
3	92-4	(文机・筆箱写真)	(筆箱と文机の写真)				状・1	
3	92-5	(紙片)	鼠色の紙片				紙片・1	表紙か裏紙などに用いられたもの力

了

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	1	古物展覧会出品目録	以印刷代筆写	明治34年8月24日	1901	桑谷元之助	1冊	
4	2	美術展覧会出品目録	犬山壮年会犬山支部主催美術展覧会出品目録	明治43年4月	1910	犬山壮年会犬山支部	1冊	表紙に付箋の貼紙有。「美術展覧会紀念明治43年4月」の印有。
4	3	目録 大正六年十月	常市上京某旧御典薬及其他書画屏風茶器道具類、場所 京都美術倶楽部	大正6年10月17~19日	1917	札元 林新助・土橋嘉兵衛	1冊	昭和6年10月17・18日下見、10月19日入札当日
4	4	目録 大正六年十一月	西陣富久田萬次郎氏所蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	大正6年11月7~9日	1917	札元 林新助・北岡猪三郎	1冊	昭和6年11月7・8日下見、11月9日入札当日
4	5	もくろく 大正六年十二月	上京神田氏所蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	大正6年12月1~3日	1917	札元 林新助・熊谷直之・土橋嘉兵衛・服部七兵衛・山中興七・春海商店	1冊	大正6年12月1・2日下見、3日入札当日
4	6	目録 大正六年十二月	当市平野履信氏及東京某氏所蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	大正6年12月8~10日	1917	札元 林新助・熊谷直之・土橋嘉兵衛・山本力	1冊	大正6年12月8・9日下見、10日入札当日
4	7	目録 大正七年四月	大阪大島氏御蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	大正7年4月21~23日	1918	札元 林新助・土橋嘉兵衛・高田新助・今井貞次郎・春海商店	1冊	大正7年4月21・22日下見、23日入札当日
4	8	目録 大正七年七月	当市西陣竹上氏所蔵品入札売立、場所 京都美術倶楽部	大正7年7月6~8日	1918	札元 林新助・高田採古堂・今井貞次郎・北岡猪三郎	1冊	大正7年7月6・7日下見、8日入札当日
4	9	もくろく 大正七年十月	当市八百三中村氏所蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	大正7年10月12~14日	1918	札元 林新助・土橋嘉兵衛・今井貞次郎・高田新助・林新助兵衛(ほか)	1冊	大正7年10月12・13日下見、14日入札当日
4	10	目録	秋元子爵家御蔵器入札、場所 東京両国美術倶楽部	大正6年5月12~14日	1917	札元 山澄力蔵・梅沢安蔵・中村作次郎・伊藤平蔵・川部利吉(ほか)	1冊	入場券(大正6年5月12・13日午前8時より午後5時まで)有。大正6年5月12・13日下見、入札・開札5月
4	11	目録	高橋男爵家所蔵品入札	大正6年10月24~26日	1917	札元 山澄力蔵・梅沢安蔵・中村作次郎・川部利吉・伊藤平蔵(ほか)	1冊	入場券(大正6年10月24・25日午前9時より午後4時まで)有。大正6年10月24・25日下見、入札・開札
4	12	もくろく 昭和五年十二月	西伯郡所子南門脇家八東郡某家所蔵品入札、場所 望湖楼	昭和5年12月6~8日	1930	札元 古曾志輝正・井上重次郎	1冊	昭和5年12月6・7日下見、12月8日入札并に開札
4	13	もくろく 昭和六年二月	石州大田上恒松家蔵品入札、場所 望湖楼	昭和6年2月6~8日	1931	札元 古志伴蔵・清水来次郎	1冊	昭和6年2月6・7日下見、2月8日入札当日
4	14	もくろく	塚本家所蔵品入札、場所 京都美術倶楽部	11月18~20日		札元 林新助・今井貞次郎・土橋嘉兵衛・林新助兵衛・高田新助(ほか)	1冊	11月18・19日下見、20日入札当日
4	15	目録	第3回赤星家所蔵品入札 場所 東京両国美術倶楽部	10月13日~15日			1冊	下見10月13~14日、入札・開札10月15日
4	16	新訳註解 文章軌範		大正5年8月1日	1916	訳註者:秋梧散史、発行元:立川文明堂	1冊	
4	17	台北市案内 昭和四年版		昭和4年1月25日	1929	南鵬案内社編刊	1冊	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	18	覚え易き 日本歴史年表		大正6年3月15日	1917	日本歴史研究会編 岡村書店刊	折本・1	
4	19	小学 歴史年表		明治38年7月18日	1905	池田幸重著、発行者:神戸直吉	折本・1	
4	20	嗚呼乃木家問題	日本弘道会有志青年部蔵版	大正5年3月10日	1916	高木八太郎編、発行所:日本弘道会有志青年部	1冊	
4	21	詩集 蓬萊		昭和18年9月1日	1943	百田宗治著、発行所:有光社	1冊	
4	22	山中幸盛	研究録	昭和2年12月25日	1927	谷口為治編、島根県立松江中学校発行	1冊	
4	23	郷土雑誌 島根評論 昭和七年四月号		昭和7年4月1日	1932	島根評論社	1冊	
4	24	郷土雑誌 島根評論 昭和七年五月号		昭和7年5月1日	1932	島根評論社	1冊	
4	25	南部台湾写真帖		明治44年9月20日	1911	黒田菊之助著、黒田書店刊	1冊	
4	26	軍隊生活写真帖		明治15年1月4日	1882		1冊	
4	27	皇室と事代主神との御関係(国幣中社美保神社)					1枚	
4	28	県社松江神社明細控					綴・1	「天真寺御霊屋大円庵公御像写月照寺御納相成」の紙1枚が挟まれている。
4	29	国幣中社美保神社社記				文学博士井上頼圀謹誌	綴・1	
4	30	刀剣 鑑定講話		大正14年5月18日	1925	本阿弥光遜著、日本刀研究会発行	1冊	外箱有。
4	31	池坊専応口伝百瓶華序		昭和32年5月13日	1957	池坊短期大学華道文化研究所	1冊	
4	32	好求録 茶器鑒定秘伝抄		明治16年5月	1883	赤塚宗輯関石黒況齋編	1冊	
4	33	芭蕉句選略解 春夏の部 芭蕉文庫 第二編		大正11年11月18日	1922	荻原井泉水編、春陽堂	1冊	外箱有。
4	34	俳句入門		昭和5年8月25日	1930	高浜虚子著、誠文堂	1冊	
4	35	袖珍俳句歳時記冬之部		大正8年1月15日	1919	長谷川諧三著、春水社	1冊	外箱有。

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	36	通俗教育叢書第5編 直政公の面影		大正4年5月5日	1915	島根県私立教育会編、文友社	1冊	
4	37	松平直政公戦功講談 附略年譜逸事		昭和2年9月30日	1927	村上寿夫編刊	1冊	「昭和2年10月7日直政公銅像除幕式」のスタンプが表紙に有。
4	38	松平直政公大阪戦功略記		明治23年7月	1890	桃川如燕講述、荒浪市平速記	綴・1	
4	39	旧松江藩祖松平直政公 御銅像建設ノ由来		昭和2年10月7日	1927	松平直政公銅像建設事務所編刊	1冊	「昭和2年10月7日直政公銅像除幕式」のスタンプが表紙に有。
4	40	不昧公遺墨集		昭和3年4月20日	1928	島根県美術協会	1冊	「不昧公印影発刊に就き」がはさんである。
4	41	不昧公記念帖				大野徳助	1冊	
4	42	島根評論第七卷第六号抜刷 第五回不昧忌				大円会	綴・1	
4	43	贈従三位松平定安公事蹟概要		大正13年3月17日	1924	松平家家務局	1冊	4-43と4-44は同じもの。
4	44	贈従三位松平定安公事蹟概要		大正13年3月17日	1924	松平家家務局	1冊	4-43と4-44は同じもの。
4	45	森脇雨庵庵宗也居士追善茶会記		昭和5年9月14日	1930	主催 茶友	1枚	於市成山西光精舎
4	46	愛子教養 四種の教		大正2年12月19日	1913	草繫全宜著、発行所 徳教会	1冊	
4	47	朝暮勤行祈祷要法				吉松快祐印施	1冊	
4	48	学士院賞を受賞せられたる「日本甲冑の新研究」の著者 山上八郎氏の人物とその事業		昭和3年5月	1928	山上八郎編纂後援会	1冊	
4	49	美保関沿革					1冊	
4	50	雲陽軍実記		明治44年11月16日	1911	井原大之助編、松陽新報社出版部	1冊	破損
4	51	台湾事蹟総覧 貳巻		大正9年5月18日	1920	大園市蔵著、台湾事蹟研究会	1冊	
4	52	近世遺墨 上 藍田友親編輯		明治12年2月	1879		1冊	
4	53	乾山遺墨		明治45年6月2日	1912		1冊	袋有。「出雲国松江市南田町米村信敬・恵宛の封書の貼付有。

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	54	出雲国美保関 美保神社神徳略記		明治39年	1906	美保神社社務所	2冊	
4	55	真理教会長 権少教正池上雪枝編輯 こよみの友 全		明治19年12月6日	1886	池上雪枝編、池上本局	1冊	
4	56	山中幸盛伝 全		明治34年12月26日	1901	山口幸五郎著刊	1冊	
4	57-1	煎茶早学 上		明治31年10月5日	1898	竹軒楽人編輯、嵩山堂出版	1冊	
4	57-2	煎茶早学 下		明治31年10月5日	1898	竹軒楽人編輯、嵩山堂出版	1冊	
4	58	大正八年補正 大徳寺世譜 全		大正8年11月10日	1919	木全宗八編、慶文堂書店	1冊	箱付き
4	59	鑑定秘訣 陶器類集 上	陶器類集 卷之一	明治32年10月	1899		1冊	
4	60	鑑定秘訣 陶器類集 中	陶器類集 卷之二	(明治32年10月)	1899	高木如水著	1冊	
4	61-1	東部茶会記第5輯上巻		大正7年4月21日	1918	高橋義雄著、慶文堂書店	1冊	
4	61-2	東部茶会記第5輯下巻		(大正7年4月21日)	1918		1冊	
4	62	九段刀剣談叢 第一輯		大正15年2月	1926	中央刀剣本部編刊	1冊	
4	63	鱸翁追薦録		大正2年9月5日	1913	池田健助編、報光社	1冊	
4	64	修冊 近古史談詳解 上				三木書店	1冊	
4	65	(新聞)	「松陽新報」大正3年9月4日・昭和3年9月25日、「山陰新聞」大正4年8月3日・昭和3年4月12日、「時事新報」昭和2年12月9日・昭和3年3月12日、「大阪毎日新聞附録西部毎日」大正13年3月6日、「大阪朝日新聞」昭和2年11月9日、「福岡日日新聞」昭和8年9月13日	大正3年9月4日、大正4年8月3日、大正13年3月6日、昭和2年12月9日、昭和2年11月9日、昭和3年3月12日、昭和3年4月12日、昭和3年9月25日、昭和8年9月13日	1914,1915,1924,1927,1928,1933		11枚	「山陰新聞」昭和3年4月12日と「大阪毎日新聞附録西部毎日」大正13年3月6日は一部分のみ
4	66-1	(明々庵写真等)	附: 明々庵文字記入指示			東京浅草並木街鶴淵撮影	1枚	4-66は紙で一括してあった。
4	66-2	(寺院前集合写真)				松江市片原関写真館撮影	1枚	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	66-3	松江市母衣尋常高等小学校卒業記念帖		昭和2年3月	1927		1冊	
4	66-4	(明々庵写真力)					1枚	
4	66-5	(御休所写真)					1枚	
4	66-6	(硯箱写真)				松江市殿町京橋東大野義守撮影	1枚	
4	67	(絵画色紙 印刷力)	「春 立花」池坊専好作 寛永13年写・「夏 生花」作所不詳 寛政頃写・「秋 生華」泉坊法恵作 文化頃写・「冬 砂之物」猪飼三枝作 元禄頃刊の複製力				4枚	包み紙で一括。
4	68-1	(両墨蹟 陸蘭溪 梵竺仙)	掛軸と箱書きの写真			松江市大野政助撮影	1枚	4-68は「瓦斯博多織」の包みで一括
4	68-2	(蓮燕之繪 書付探幽 牧溪)	掛軸と箱書きの写真			松江市大野政助撮影	1枚	
4	68-3	(六祖 梁楷 一幅)	掛軸と箱書きの写真			松江市大野政助撮影	1枚	
4	68-4	(蒔絵台)	蒔絵台の写真			松江市殿町京橋東大野義守撮影	1枚	
4	68-5	(喫茶去)	喫茶去の写真				1枚	
4	68-6	(喫茶去)	喫茶去の写真				1枚	
4	69	大楠公	少年倶楽部第18巻第6号附録	昭和6年6月1日	1931	五姓田芳柳画	1枚	
4	70	(甲冑写真)				松江母衣 村田耕作撮影	1枚	
4	71	(繪葉書)	出雲大社、縣社松江神社、城山公園より市街を望む、城山公園松江神社前の景、宍道湖の帰帆				13枚	「御初穂 米村信敬」の包み紙有り。「贈呈松江名勝繪葉書」の袋が挟まっていた。
4	72	(写真)	貫名海屋、池野大雅堂、野呂介石、日根野對山、五岳、頼山陽等の掛軸写真				15枚	「御菓子」の紙に包んである。不鮮明。

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	73	茶室繪はかき	松平不昧翁肖像、護国寺境内仲麿堂茶室、護国寺境内仲麿堂之内部、護国寺境内仲麿堂、仲麿木像、不昧軒、不昧公所持石燈籠 蹲踞石、圓成庵の一部、圓成庵腰掛、圓成庵全景			護国寺	10枚	「茶室繪はかき 護国寺」の包み有り
4	74	最近 兼六園	金澤兼六公園 海石塔、霞ヶ池、福寿山、虎石、明治紀念標、徽軫灯籠、翠瀧、噴水、旭櫻				9枚	封筒有り
4	75	伊勢美術繪葉書名勝	伊勢内宮神苑、伊勢外宮神苑、内宮奉獻日露戦役砲、伊勢朝熊山、伊勢御幸通り、伊勢外宮、伊勢徴古館、伊勢二見浦之出光景、伊勢宇治橋、伊勢内宮				10枚	封筒有り
4	76	花の都(絵葉書)	京都平安神宮神前の櫻花、京都圓山新公園、京都嵐山千鳥ヶ淵の櫻花、京都丸山公園の櫻花[一][二]、京都眞如堂立皮櫻、京都御室仁和寺の櫻花、京都清水寺の櫻花、京都動物園内の櫻花、京都圓山公園			山口青旭堂発行	10枚	封筒有り
4	77	松江市全景	松江市内写真				6枚	封筒有り
4	78	荒川堤五色櫻(絵葉書)	荒川堤の名櫻 浅黄、御衣黄、墨染、紫、關山			下谷区入谷町90 精華堂発行	5枚	封筒有り
4	79	常陸助川駅前常磐館絵葉書	旅館常磐館客室、別館玄関、海岸ヨリ旅館常磐館望、旅館常磐館玄関、旅館常磐館ヨリ日立鋼山遠望、旅館常磐館別館、旅館常磐館園庭ヨリ海岸望、旅館常磐館園庭、			旅館松の家	8枚	封筒有り
4	80	萬松山泉岳寺参詣紀念絵葉書	(東京芝高輪泉岳寺)萬松山泉岳寺本堂、萬松山泉岳寺表門、萬松山泉岳寺全景				3枚	封筒有り

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	81	日立製作絵葉書	[日立製作所)組線工場、捲線工場、木型工場、計器工場(其一)、罫畫工場、試験工場、機械工場(其一・其二)、大物工場(同題別写真2枚)、			川島写真館発行	10枚	封筒有り
4	82	松江高等学校開校式記念絵葉書	松江高等学校舎ト小松学校長、松江高等学校運動場				2枚	封筒有り。附:絵葉書贈呈添状。
4	83	聖上陛下銀婚式祝典絵葉書	聖上陛下・皇后陛下、聖上陛下御大婚当時の御尊影等	大正14年5月10日	1925		4枚	封筒有り
4	84	平和記念絵葉書(貳枚壱組)		大正8年	1919	逓信省発行	2枚	封筒有り
4	85	日光名所絵葉書(二十五枚組)	日光方等瀧、日光裏見の瀧、日光霧降瀧、日光湯瀧、日光盤若瀧、日光龍頭瀧、日光華嚴の瀧、日光湯元、日光中禪寺湖、日光中禪寺歌ヶ浜、日光旅館小西別館の正面、日光旅館小西別館庭園、日光東照宮表門、日光東照宮御唐門、日光東照宮三猿、日光東照宮眠猫、日光東照宮奥の院、日光三代公御拝殿、日光東照宮陽明門、日光東照宮御拝殿、日光三代公仁王門、日光三代公御拝殿、日光三代公二天門				23枚	封筒有り
4	86	名物武器 壱組十枚 記念絵葉書	伊藤博文公愛蔵ノ拳銃、墓目用ノ弓矢、鎮西八郎為朝ノ大矢ノ根、荒木村重ノ鎗郷ノ義弘作・鞘巻太刀景依作・白銀ノ太刀国宗作、赤松則祐吉野落ノ野太刀、徳川秀忠佩用ノ太刀、小笠原家重宝「甲破り」高平作、博多吉光徳川家康ヨリ黒田家ヲ經テ有馬家ニ伝フ、織田信長ノ愛刀不動行光、徳善院貞宗脇差柳澤則重ノ刀			福岡 先哲遺物展覧会	10枚	封筒有り
4	87	荒川堤名櫻絵葉書	荒川堤の櫻(8枚)			下谷区入谷町90 精華堂発行	8枚	封筒有り
4	88	小金井の櫻 繪はがき	武州小金井の櫻(御成の松)・(新小金井橋)・(小金井橋)・(関の橋)・(櫻樹之碑)			東京山光堂製	6枚	封筒有り

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	89-1	歴史繪はかき三枚組	村上義光錦旗ヲ奪返シテ護良親王ニ奉ル、如意輪堂ニ於ケル楠正行、楠公櫻井駅正行へ教訓			吉野山楠田商店発行	3枚	封筒有り
4	89-2	吉野みやげ名所繪はかき、吉野山名所葉	吉野公園 上の千本櫻・下ノ千本櫻・南朝忠臣村上義光ノ墳墓、吉野山全景、吉野山の太橋、吉野川急流ノ筏、吉野山金峰山(花王堂)大塔之宮本陣之旧跡・吉水神社・小楠公辞世ノ扉・永峯櫻・中の千本櫻・金峰山寺蔵王堂・吉水神社・上の一目千本櫻・下の一目千本櫻・村上義光の墳墓及碑石・後醍醐天皇御陵・如意輪寺本堂			吉野山楠田商店発行、吉野山発行所	18枚	2種類の封筒有り。何種類かの繪葉書が一緒になっている。
4	90	(東照宮参拝路しるべ)					1枚	封筒有り
4	91	(繪葉書)	日光ニ荒山神社、日光東照宮御水屋、日光街道、日光御神橋、日光東照宮本殿及御唐門(同2枚)、日光陽明門(同2枚)、日光華嚴ノ瀧				9枚	日光御神橋の繪葉書に芳江→米村耕一郎様松江様の葉書有り。
4	92	大阪新世界繪はがき	(大阪名所)天王寺公園動物園・天王寺洋式公園・茶臼山、(大阪新世界)ルナパーク全景・ラヂウム温泉場・通天閣エレベータ・通天閣飛行船			新世界東ノ町 政の家発行	7枚	封筒有り
4	93	(繪葉書)	直政公へ靈元天皇ヨリ御下賜ノ御太刀、城山公園より市街ヲ望む ほか				5枚	
4	94	(葉)	日光名所				1綴	中に数枚写真を挟み綴じた仕様になっている
4	95	(ジャム広告)	ジャム品々 ジャムはおいしくて衛生的です メロン・オレンジ・リンゴ・アンズ・バナナ・ブドウ・イチゴ			大日本ジャム製造所(東京市四谷区)	1枚	印刷
4	96	(手紙を模した飾りもの)	鉄製。ペーパーウエイト？宛名にラフカチオ様などと書かれている				鉄板・1	

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
4	97	(大松鯉、富士)	大松鯉(川端龍子筆。大阪毎日新聞昭和14年2月1日附録) 富士(大阪毎日新聞昭和8年9月附録)	昭和8年 昭和14年	1933 1939		絵・1	印刷
4	98	(祇園祭の図、天神祭の図、諏訪神社大祭の図)	大阪毎日新聞附録	昭和7年	1932		絵・3	印刷
4	99	(人物画)	衣冠束帯の男性が立っている図。墨絵。				軸・1	
4	100	摂州四天王寺庚申堂	青面金剛童子、四天王、三猿を描く				軸・1	印刷
4	101	墨書一括	豎物・横物・漢詩・和歌など。軸装から剝したものか				一括	
4	102	(田中ふとん店包装紙)					包装紙・1	松江白潟町
4	103	鳥兔結摩、人形(宝舟を持った子供)					巻物・1 人形・1	印刷

了

分類番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
5	1	吾郷土に於ける偉人名士	頼源僧都の勤皇事蹟(野津天籟)、松平直政公の事蹟(林栄太郎)、黒沢石斎(深津精一郎)、堀尾吉晴公の事蹟(附)忠氏公忠晴公(桃好裕)、堀尾氏の遺蹟松江開府(野津天籟)、内村鱸香先生略歴(原翼)、北尾次郎先生略伝、桃白鹿先生伝(谷口為次)、釣年庵曲川翁略伝、山中幸盛公(野津天籟公演)	昭和9年	1934	日本弘道会松江支会	綴・1	日本弘道会松江支会創立四十周年記念事業、郷土の偉人名士の事蹟編集。会報附録毎編十二編
5	2	出雲国刀匠作品陳列会出品目録	昭和3年11月3・4・5日松江城山興雲閣	昭和3年11月	1928	松江刀剣会	目録・1	
5	3	天守閣観覧券、天守閣登閣券、天守閣通券		明治43年12月26日消印		→福岡世徳	封筒・1	中身はなし
5	4	(松江城内写真力)	(水之手門・ギリギリ井戸跡周辺と思われる)				写真・1	石垣などが写る
5	5	(松江大橋目録)	(元明大橋から8代趙栄大橋までの橋名・年次を記載)	寛政12年頃			継紙・1	
5	6-1	山陰新聞(城山天守台広場に旧松江藩祖銅像建つ)	山陰新聞(日刊)切り抜き	昭和2年10月7日	1926	山陰新聞	新聞切り抜き・1	
5	6-2	松陽新報(我ら藩祖松平直政公の銅像を仰ぐ日は来た ほか)	松陽新報(5・6面)	昭和2年10月7日	1926	松陽新報	新聞切り抜き・1	
5	6-3	松陽新報夕刊(島根県庁舎敷地を県に 千鳥遊園地を松江市に そのほか)	松陽新報(1・2面)	昭和2年10月7日	1926	松陽新報	新聞切り抜き・1	
5	6-4	松陽新報(旧藩祖直政卿銅像除幕式 ほか)	松陽新報(1・2面)切り抜き	昭和2年10月7日	1926	松陽新報	新聞切り抜き・1	

了

分類 番号	番号	表題(仮題)	内容	年代	西暦	作成→宛先	形態・数量	備考
6	1-1	(墨書)「比妓女」	比妓女射術口授秘決條々	天明4年	1784	臼井帯刀平胤栄・岡田孫三郎・蕃韻→大木林蔵	軸・1	両軸首脱落。
6	1-2	(書状・短歌・写)		文政12年5月吉日	1829	尾崎	軸・1	印刷力。題読めず。
6	1-3	柏原流槍目録	柏原流鍵槍目録	寛政5年10月吉日	1793	飯塚長威入道他11名→大木茂十殿	軸・1	
6	1-4	(絵画)三福神 朝日丹■■■殿(以下不明)	三幅(鯛・金袋・口)図 松江城下八九十はかりのおやち口筆。				軸・1	虫損・汚れ
6	1-5	(書)「火之用心」					軸・1	印刷力。題読めず。
6	1-6	(御太刀)	葵紋入太刀図。出雲大社御宝物之影。				軸・1	虫損・軸首脱落。
6	1-7	天隆院(カ)様御幼年之筆	車馬長安之道誰在大隠心				軸・1	
6	1-8	(包紙のみ)	不昧公御筆 巻幅 米村信敬殿				包紙・1	中身ナシ
6	1-9	(軸のみ)					軸・1	本紙無シ
6	2-1	(絹本 刺繍)	桐に鳳凰図				巻物・1	142.5×55.5
6	2-2	軸(漢詩)					軸・1	131×68
6	3-1	(墨書)「豊楽」				会津藩臣山内熊蔵香雪筆	軸・1	106×64.5 (外題)「会津藩臣山内熊蔵香雪筆 嘉永二酉年 清水氏に受之」
6	3-2	(墨書)「万歳舞」				八十二翁聴松	軸・1	178×56
6	3-3	(漢詩二幅)	一枚は芝浦遊船、一枚は己巳新秋書			単山高有常(印)	条幅・2	
6	3-4	(墨書)「鶴亀」				九十六才翁書門脇里風	墨書・1	24×33
6	3-5	(墨書)	水(三代連綿開ハ木字之賀埴)			琴川漁叟田常有	墨書・1	32×41
6	3-6	(墨書)「松竹」				一百二十七 三翁(印)	墨書・1	45×46

了